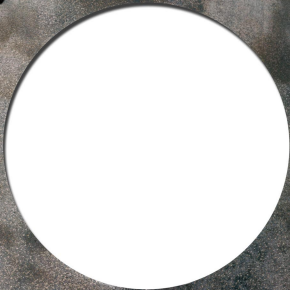


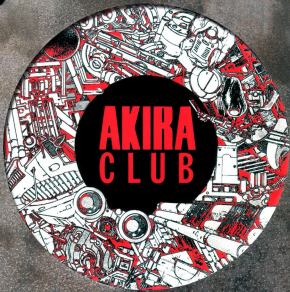
OTOMO KATSUHIRO



THE MEMORY OF AKIRA LIVES ON IN OUR HEARTS!

KODANSHA

O T O M O K A T S U H I R O



THE MEMORY OF AKIRA LIVES ON IN OUR HEARTS!

KODANSHA



O T O M O K A T S U H I R O



THE MEMORY OF AKIRA LIVES ON IN OUR HEARTS!

AKIRA CLUB

OTOMO KATSUHIRO

『AKIRA』は1982年12月にヤングマガジンで連載を開始し、1983年3月の単行本6巻発売で幕を閉じた。本書はその10余年の全記録を目標したものであり、以下の4部で構成されている。

AKIRA ILLUSTRATIONS

このセクションには、単行本のパーイラストとヤングマガジン表紙イラストを中心に、カラー画及びそのデッサン類を集めた。著者の作画意図として短いコメントを付してある。

TITLE-PAGE COLLECTION

『AKIRA』単行本ではストーリーの流れを優先したため、雑誌連載時の扉絵は省略されている。このセクションにはその128回分の扉絵を完全収録した。その順に付したのはヤングマガジンの目次に入れられた当時の著者近況である。また、単行本各巻のまとまりごとに、連載時のタイトルロゴとリードを再現したコーナーを置いた。それと隣接して収められた見開きのカラーイラストは、スティーブ・オリワ氏が単行本の表紙絵を本書のために新たにカラーリングしたものである。

MEMORIAL GALLERY

本書制作中「おもちゃ箱セクション」と呼ばれたここには、宮城野平スター、グッズ、各国版をはじめ、『AKIRA』の周辺で作られたものをほぼ網羅した。

UNPUBLISHED WORKS

連載執筆中、あるいは単行本化の際に変更され、NGとなった23のカット集である。単行本収録カットを全て掲載し、著者の解説をつけた。著者の作画姿勢、テクニクなども読みとっていただきたい。また、作中人物のモデルなどについてもここでふれている。なお巻末には、年表と連載時の編集部アンケートに対する著者コメントがある。『AKIRA』というプロジェクトを支持していただいた多くの人々に、『AKIRA』がいた時代を再確認していただければと思う。



「AKIのA」新連載予告用イラスト。
ヤングマガジン 87年12月8日号に掲載。
210mm×210mm。

「連載前、キャラクターがまだ完成としていない時に描いたものです。主人公が少年ということだけは決めていましたからこれなら嫌にはならないだろうと思って描きました」



銀行家1巻のバースト。
1984年5月14日。
「バースト」というのは、どれ
をいって。アタコと風の暴
い世界というが、ボリユー
のあの銀行家にしたかったん
です。このバーストもボリユー
を出すために、無謀に
行く遊んでいます。こんなに
薄っぺらいのは生まれて初め
です。



単行本1巻。初版は84年9月21日。89刷。黄色の小包。表紙はすべて美術雑誌など画期的な本でセンセーションを博した。「世界展開を考えた。英語や中国語を使ったわけではありません。新しいものを創りたい」という意気込みはすごかったです。

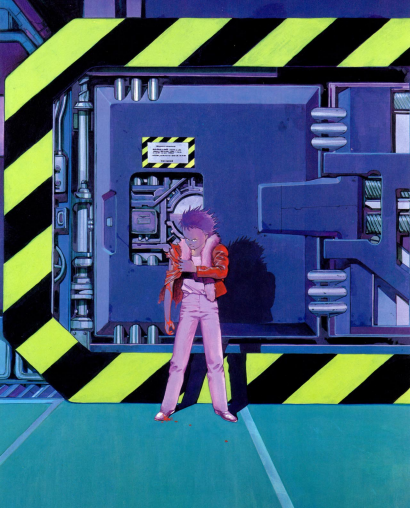


単行本2巻。初版は85年9月4日。小包の巻。は活版。活版屋のイラスト。516mm×184mm。「1巻がヒットなイメージ。ならば2巻はクールでいこうと思いました。カバー裏はビジュアルです。ビジュアルのカラーバランスを変えて何回も印刷するわけで、読者のビジュアルを損ねないようにしていました。」



上の2点は単行本1巻のバリエーション案。
「デザインが決定するまでに、すでに8時間かかりました。ボリュームを出したいし、無国籍の感じを出したい。旅行雑誌の連続で、発売が遅れてしまいました」
下は単行本の完成品。
「これは『機動王』に連動していた横溝秋武さんの『砂漠の魔王』を参照しました。あのアメコミ風の色彩が大好きで、いつかは自分もしてみたいと思っていたのです」







銀行家1巻のハイラスト。
1巻はアメリカン、2巻はポ
ロピアンをイメージしてい
ます。3巻はオリエントな雰囲
気を出そうと思い、従来の戦車
や空母の他艦などに工夫してい
ます。



単行本第3巻の表紙プレゼント用ポスター。
720mm×1072mm。



カバーイラストのマーカール。
「裏表印刷を強く部には、必ずマーカールで試し塗りをお願いします。
全体のイメージをつかむためには、絶対に必要な作業です」



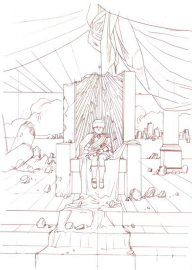
単行本3巻。
初刷は1984年1月1日。
イロの色はオレンジ。



単行本3巻のバーデザイン。
「1巻2巻と派手を動かしてきて、3巻は半ワイトを基調としたシンプルなカバーがほしいかなと迷っていました。でも結局後戻りしてできないなと思い直しただけで、派手なオリエントルのカバーになりました。」



最終本4巻のバーイラスト。
131mm×231mm。
「石段の部分の背景をダレー
が描くかどうかわからないので特製の
ダレーを使いました。」



単行本4巻のバーイラスト下絵。



上は単行本4巻。
初版は、83年7月10日。
小のの色はバーズ。
左は読者プレゼント用ポスターで
1027x572mm。

単行本4巻のバーデザイン案。
「単行本カバーは1巻から動一巻一動と変えてきたから、順番で4巻は静の絵だなと思っていました。で、選んでるアキラを悩んだけど、どうも男に入らない。立たせても男に入らない。また選んで今度ばかりは男を聞いたら、ぱっと世界が広がったんです」



OTOMO KATSUHIRO



AKIRA

2020 A.D., capitale futur d'Osaka - un attentat de la force nucléaire d'AMERICA se déroule sur la scène du monde globalisé, et ce lieu sera dans la seconde dimension.

La quatrième volume de cette série d'animation anime qui attire le regard même au sein d'un monde en constante évolution fait à fait sensationnelle l'œuvre de Katsuhiro Otomo.



PART 4
SPECIAL PRICE
2000 yen
KODANSHA



単行本3巻のバーイラストの下図。

「ここから色を塗っていくわけですが、単行本の仕事。つまりカラーの仕事は1年に1度精度で動きを取り戻すだけで大変でした。特にこれは得意にある光線がなかなかうまくいなくて、苦労した記憶があります」

単行本3巻のバーイラストのサーカラー画。「2パターン送ってあって。色合としてはオレンジの方が気に入っていたんですけど、周りのみんながグリーンの方がいいと言うもんですから」



上は単行本3巻。
30年12月11日初版発行。
表は本巻のイラストで
316mm×222mm。



単行本3巻のバーイラストのラフデザイン。「4巻までのカラーイラストは内容に連動してません。3巻からは、中に印刷されるシーンからイメージして描くようになりました」





OTOMO KATSUHIRO

AKIRA



The epic 3D average motion picture for the post-apocalyptic future. When the explosion of superpower begins, the world is torn off. Now Tokyo is a ruin for the new world.

PART 6
YOUNG

旅行本8巻の読者プレゼント用
ポスター。100mm×175mm。



上は旅行本8巻。
1989年3月21日初版発行。
下の色は表紙。
右はそのイラストで
516mm×382mm。



旅行本8巻のカラーイラストのラフデザイン。
「ラストですからカッコよく決めたかったんです。そのせいで
ラフの量が一番多くなってしまいました。余白の増減も正真正
にかけたいと思い、そのための、わざとらしくない状況設定も考
えるのに苦労しました」





上記アニメ「AKIRA」は、1988年12月18日発売。
近頃は、そのイタリヤ、113mm×435mm。
「レーザーディスク」は、コードで売
られるということも、かなり意識して
作りました。アニメのジャケットは、キ
ャクターを、3Dで描くというものが
多いので、顔のアップで描くように
思ったわけです。

1枚組レーザーディスク
『スペシャルコレクションA&I 9A』
バッター・ロイタスの
ラフデザインとマークー画。





「レーザードิสコも2 階建てだから、
何を撮ろうかなんかの決まらなかったです
ね。参考にあファッション雑誌を見たりして
いました。ここにあるラフなやつ、どう見て
も、男性ファッションモデルのポーズや構
図なんですわ。元幹に考えと、どうも、「A
KIRA」らしくない。漫画家はよく顔に
固執と、こういうことをやり始めるとい
います。今見ると、これはこれでおもしろ
いとは思いますが、

AKIRA

1988年公開
1988年公開



「スペシャルコレクションAKIRA」
発売パッケージ。1988年1月21日発売。
「本書は上のタフのようにAKIRAの
ロゴが小さく方が好まなくてすけど」

「スペシャルコレクションAKIRA」
パッケージイラストのマーク一画。
「結局こうなりました。これは完全に自分で
考えた絵です。それにしても、カラー版は
自分の思った通りの色になかなか印刷されま
せんね。印刷技術の限界なんだろうけど、そ
れども使用している画材のせいなんだろう
が、18年前に買ったリネックスを未だに使
っていますから、そのせいかもしれません」



1枚道レーザーディスク
「スペシャルコレクションⅣ(1枚A)」の
パッケージイラスト。314mm×418mm。



ヒデオ「AKIRA」
練習室プレゼント用ポスターのイラスト。
ヒデオは18年12月1日発売。
512x731mm。



アニメXC「AIRA」1巻のパーイラスト。
16歳×24歳。

「ここに描いたうちの何人かは、アニメ用に作った
キャラクターです。誰がそうかわかりますか？」



アニメKC「AKIRA」2巻カバーイラスト。
[田中幸次郎]作。
「アニメの美少女の人がこんな格好をしてたんです。
真似してみました。アニメ的世界観でしょう?」



アメリカの「A.K.T. R.A.」の画家マーク・ロートコ。
1964年、1965年。
「上の青と下の赤。空想した世界を表現したつもり
です。どちらの世界に行きか、悩んでいるわけです」



アニメKC「AKIRA」4巻カバーイラスト。
画師KISHOU。
「アニメKCでは、小さくても存在感がある描きまし
た。これなんて、いかにも素晴らしい感じですね」



アニメKC「AKIRA」：5巻カバーイラスト。
36cm×213mm。
「アニメKCのラストです。とは言っても、実は、
この1巻分はほぼ同時に描いたのです。」

The great mystery of AKIRA develops into a thrilling drama of the year 2019A.D.



A white figure on a street with nothing a moment ago, leading the group, brakes. The figure came closer and numbers written like body, and a face....

GOOD FOR HEALTH!



GOOD FOR HEALTH!

KANEDA



Who is taken away from the scene? And Kaneda, who is involved in the beautiful girl Kay who

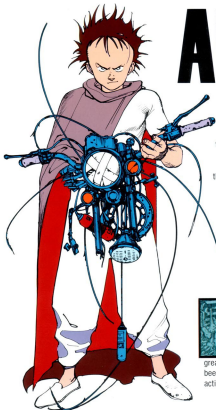
? What will happen to Kaneda?

AKIRA

One of Japan's leading comics of the 1980's. The long-awaited first volume of "AKIRA", the science fiction story with fullscale action!

OTOMO KATSUHIRO

AKIRA



A.D. 2020. In the western region of the great expanse of wasteland known as **Neo-Tokyo**, the **Great Tokyo Empire** which defied the mysterious **AKIRA** together with the **DAIKAKU**, declared independence.

What are the real intentions of **TETSUO** who commands the empire?

Also,

what is to become of **MIYAKO**'S army, destined to overthrow **TETSUO**'S empire? Finally, what kind of fate must

KAY and **KANEDA** who is lost without a clue face. **AKIRA** has become a SF action comic of



great controversy in our time. **AKIRA** has been published serially boasting over 1000 action packed pages.

OTOMO KATSUHIRO

「Tシャツ用イラスト。サンダマガジン 1989年11月号のプレゼントグッズ。
「真鍮にグループを模倣するオブジェを持たせたかったのです。うまいことバイクのヘッド部分を思い浮かべました。」

アニメビデオ「AKIRA」
 漫画家プレゼント用のスター
 の下絵。



漫画プレゼント用
 トレーダーのイラスト。



漫画プレゼント用
 Tシャツのイラスト。



漫画プレゼント用Tシャツの
 イラスト。38歳×24歳。
 「AKIRA」のTシャツ、胸
 のワッペンには、NHKの「YD
 U」の絵が入っています。我々が
 らが描いた。

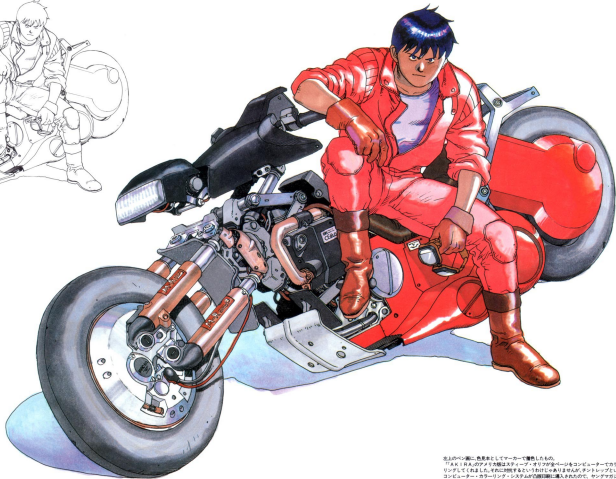
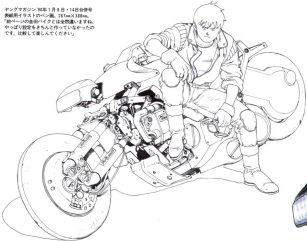


漫画プレゼント用
 Tシャツのイラスト。

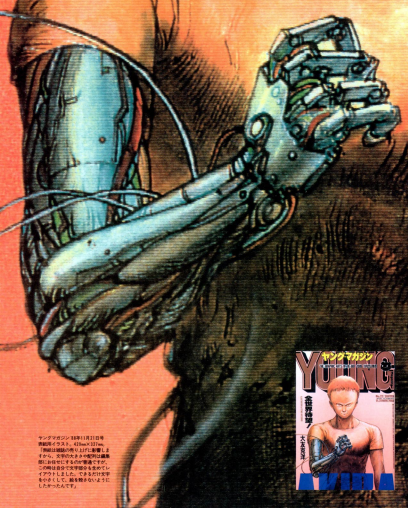


アニメに学ぶ「A×I×R×A」
横濱市ブルーシート野がスター
のイラスト。104mm×311mm。
「実は、企画のレイアウトは極く
たがひに変わっています。設定
がないので自分で補っている
と、いつもいい加減なものに
なっています」

サンダーボルト 1981年1月8日・14日合併号
 表紙用イラストのペン画。317mm×218mm。
 「鉛ペンの描画がバイクとは全然違いますね、
 やっぱり設定をきちんと作っていいかったの
 です。比較して楽しんでください」

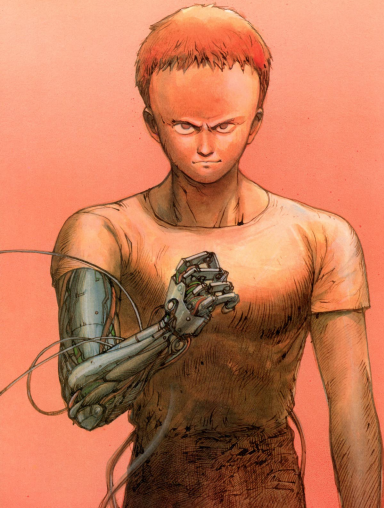


左上のペン画に、色紙おとしてマーカで着色したもの。
 「AKIRA」のアメリカ版はスティーブ・オリフが全ページをコンピューターでカラー
 リングしてくれました。それに対抗するというわけじゃありませんが、デントレップという
 コンピューター・カラーリング・システムが当時日本に導入されたので、サンダーボルト
 の表紙画に着色してもらいました。それが日本で最初のデントレップ表紙イラストでした」



ヤングマガジン 88年11月21日号
表紙用イラスト、41歳×117cm。
「僕は雑誌の売り上げに影響しますから、文字の大きさや配置は編集部にお任せにするのが普通ですが、この時は自分で文字部分も含めてレイアウトしました。できるだけ文字を小さくして、絵を隠さないようにしたかったんです」









ヤングマガジン 83年12月28日号
 雑誌用イラスト。161mm×113mm。
 「キャラクターが固まっていないうちで描いた
 ものです。いったいこの少年は誰なんだろう。世
 界が裏に入らなかったのか。描いた後で、グレイ
 のカラーを貼っています。雑誌にした時はさらに
 モザイク処理をしました」

初版ヤングマガジン 83年12月5日号
 雑誌用イラスト。161mm×113mm。
 「イラストセッションの中でも、かなり興
 味を給ったと思います。80年代のポップミ
 ュックの影響が出ているので、色と線が通
 っています。しかも全部のカラーで描いて
 います。ちなみに右端の真ん中にあるのは
 アーノルド・ベックリンの『死の舞』とい
 います。ゆめくちに見えないか」



原画サイズ215mm×181mm。

「アニメ「AKIRA」の美術担当に、どんな世界観でやりますか?って聞かれました。試しに一回描いたものです。その人に見せたら、こりゃあ痛くの大変ですよって言われてしまいました。ちなみに、画面に赤木堅というラウンジ屋がありますが、あくまでもこれは架空の風景ですから」

THE MEMORY OF AKIRA LIVES ON IN OUR HEARTS!

episode1 ~ episode120

TITLE-PAGE COLLECTION

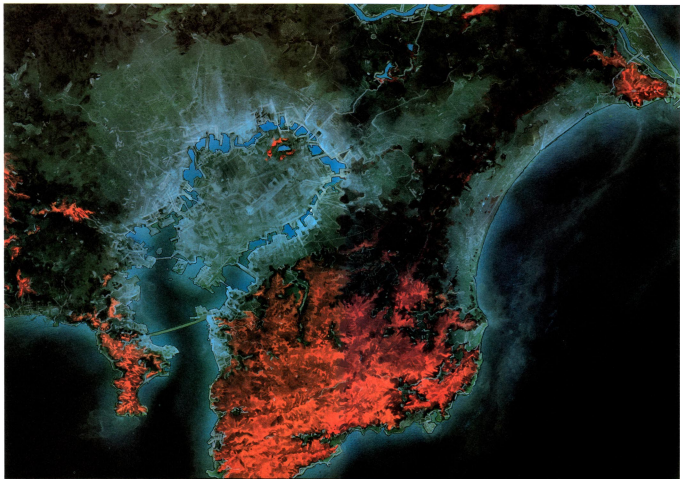
AKIRA



TITLE-PAGE COLLECTION

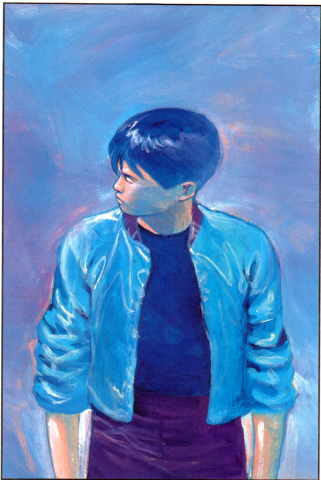
Episode 1-18





Title page of Episode 001
Young Magazine (Dec. 25, '93)

「12月20日に東京近郊の山で
一帯に火が燃え広がりました。」
—山火の被害を受けた人々—



Title page of Episode 002
Young Magazine Jan. 5, 1991



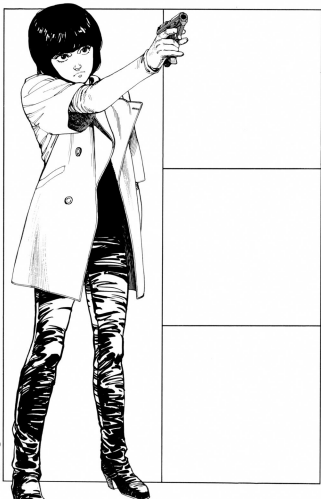
「G.H.F.のアンテナをつけて
テレビ映像用を制作し、通訳の
んでびっくりにしています。」



Title page of **Episode 001**
Young Magazine Jan. 17, '92



「カゼをひいてしまい、ノゾ
も風邪をひいたので、32巻
巻を買いました。」コナン



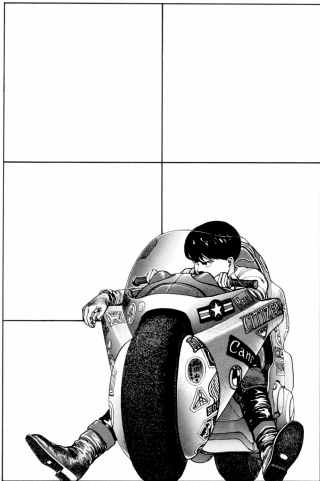
Title page of Episode 804
Young Magazine (Feb. 7, 83)

「今年の中は大好きな毛が二
が黒髪で、なかなか手に入ら
ず、涙をかくえています。」



Title page of Episode 005
Young Magazine (Feb. 21, '93)

「俺達のたまごで育て、いっとう
つなげておくれやん貴族者に
付こうと思ってます」



Title page of Episode 006
Young Magazine (Mar. 7, '93)

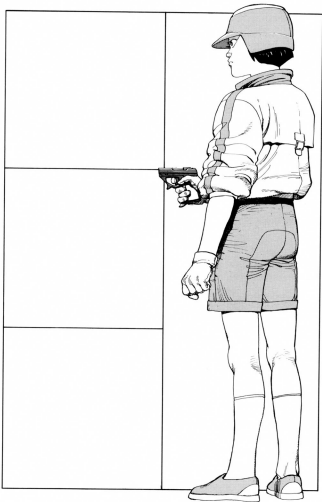
「部屋は結構がえんをして気分
一新、寂しい気持ちで「アキ
ラ」に臨み参入です。」



Title page of Episode 007
Young Magazine (Mar. 21, 93)



「2月29日、友人の誕生日・高
中卒業式の模様で1冊目の
アロハに付きました。」



Title page of **Episode 008**
Young Magazine (Apr. 4, 93)

「キャラクターデザインをし
たのは岡本浩一、上原中、よかつ
たら、読んでください」



Title page of **Episode 009**
Young Magazine (Apr. 18, '93)



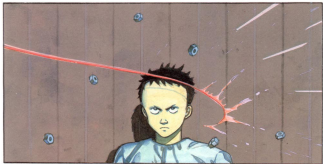
「NHK放送テレビの『Y.O.
』のタイトルバックの絵が
今更、新しくなります。」



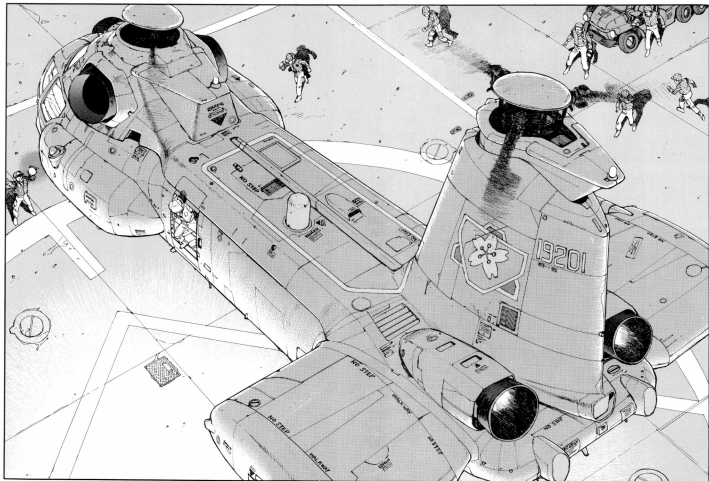


Title page of Episode 118
Young Magazine May 7, '93

「夢あつたかくて、わたい
です.....」







This page of Episode 013
Young Magazine May 16, 93

「製作・監修した」にやうな
関係にのり18-5/22で、
この文を添えて公開され
ます。



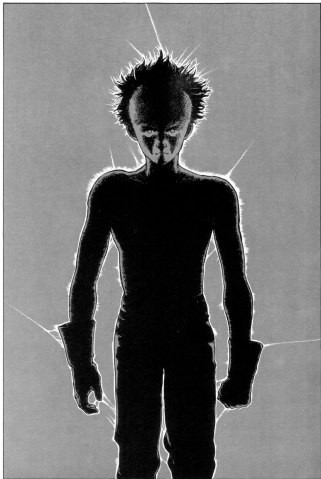
Title page of Episode 012
Young Magazine Jan. 6, '93

「敵役員にもなったラジコン
カーもついに完成させまし
た」



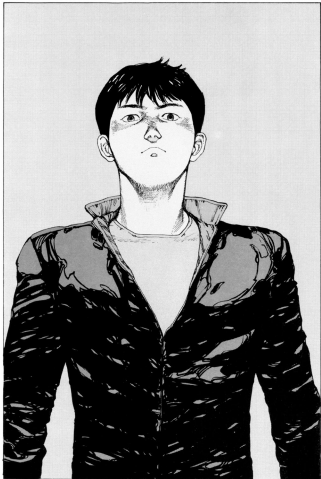
Title page of *Exotic* 013
Young Magazine (Oct. 25, 93)

「金持に行って、足の指を開
いた顔を見た。はふたつはこ
さんの夢見は本当だった。」



Title page of Episode 004
Young Magazine (Jul. 4 '98)

「近くの公園に行って、ラジオコンカーを走らせています」



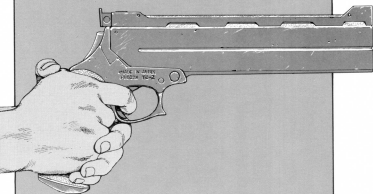
Title page of Episode 005
Young Magazine (Vol. 35, 36)

「マスターウォーズ」を読まし
た。あと、スラムマンと307
を読みたい。



Title page of Episode 316
Young Magazine (Aug. 1, '88)

「特選の」重宝、の集刊本(316
集刊本)の発売中です。



Title page of *Episode 001*
Young Magazine (Aug. 15, '93)

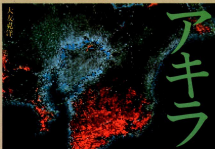
『13番目の標的』は、この物語の始まりです。
そして、この物語は、これから始まります。



Title page of *Code 018*
Young Magazine (Sep. 5, '88)



「伊豆で海軍部、まっくらけ
になりました」



Episode 1-18

perfect reproduction of
the title pages published
in Young Magazine

本誌SFアクション 第4回



本誌SFアクション 第5回



カラーSFアクション 第1回



本誌SFアクション 第6回



本誌SFアクション 第7回



カラーSFアクション 第2回





大友克洋



大友克洋



大友克洋



大友克洋



大友克洋



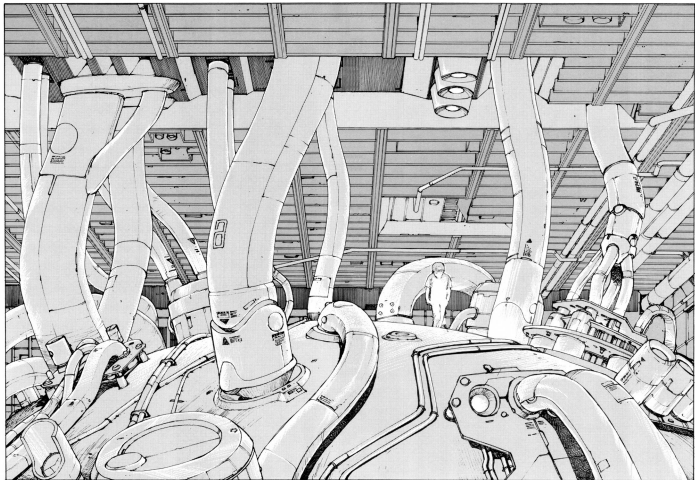
AKIRA



2

**TITLE-PAGE
COLLECTION**

Episode 19-33

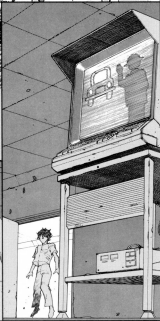
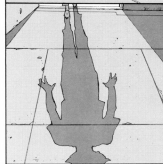


Title page of Episode 009
Young Magazine (Sep. 18, 93)

「結局の中、置かせるひいて
しまつて、3日後にAました。
マイクが」



Title page of Episode 018
Young Magazine Oct 3, '98



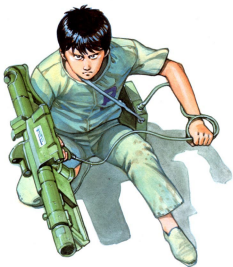
Title page of *Episode 021*
 Young Magazine 1981.17, 198

「涼しくなって、暑やすくな
 りましたよ」



Title page of *Episode 022*
Young Magazine (Nov. 7, '83)

「出撃機のようながえをして、
気分をかえてみました。」



Title page of Episode 023
Young Magazine (Nov. 21, '93)



「薬くなったのでコップを入
れました」



Title page of **Episode 004**
Young Magazine (Dec. 5, '95)

「今年の夏に買ったエアコンの調子が悪かったので買っている。」



Title page of **Episode 025**
Young Magazine (Dec. 19, '88)

「原作版」漫画、(双葉社刊)で
84年度SF大賞を受賞しま
した。



Title page of Episode 026
Young Magazine (Vol. 2, 54)

「やっぴアキラがはせやうです」



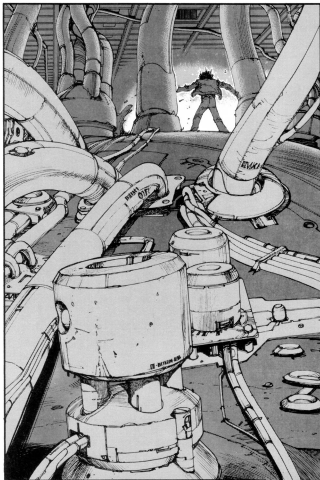
Title page of Episode 327
Young Magazine (Feb. 5, '93)

「本誌が楽でワレシイです」



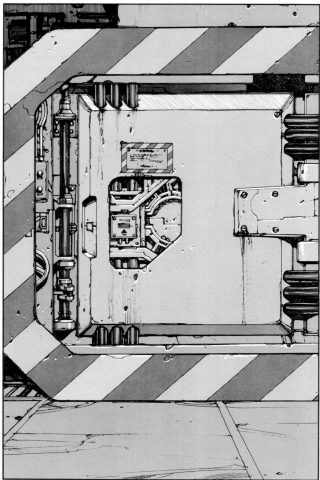
Title page of **Episode 008**
Young Magazine (Feb. 30, '94)

「キューブリックが映画をとる
ことになったというタフの配
役を見て、うれしかった。」



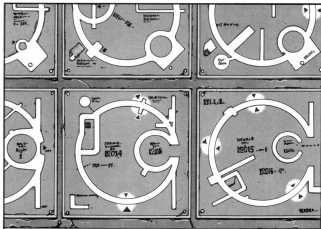
Title page of Episode 629
Young Magazine Mar. 5, 1991

「早くお見見がしたいですね。」



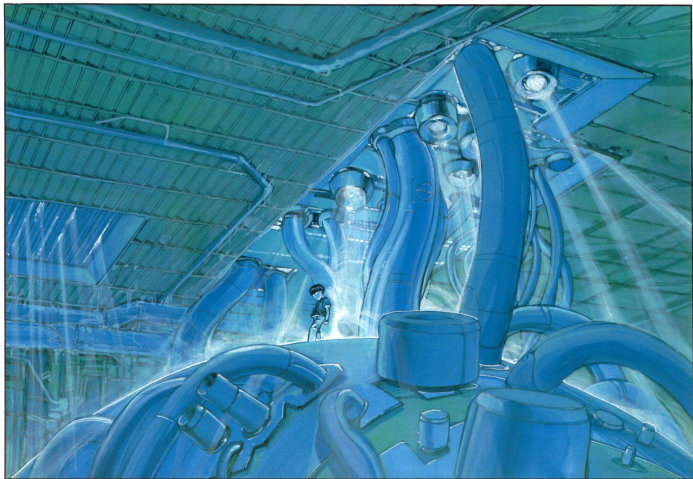
Title page of Episode 030
Young Magazine (Mar. 30, 98)

「機体作りのため、ブールに
こうなっています」



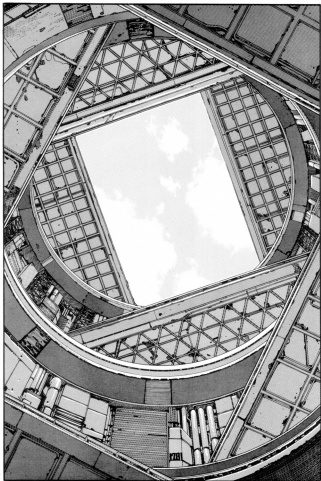
Title page of Episode 001
Young Magazine May 2, 1984

「新世紀は、このへんから
とんで、よりね」



Title page of Episode 832
Young Magazine (Apr. 18, '94)

「カウーをたくさん読んで、
しゃったです」



Title page of Episode 013
Young Magazine (May 7, '90)

「そろそろお花見ができてうれ
しい」

AKIRA

第38回のみタイトル・ロゴ。写植のブロードウェーを使用。この回からしばらく英語表記になる。「そろそろあきたのてええよう」と思っていたのと、前回から第2章に入ったので。この回アールデコが廃れて、それ風の書体ということを決めました。実験せずにめったにあまり気に入らなかったため、「1回しか使いませんでした」。

AKIRA

OHTOMO KATSUHIRO

第39回～第40回までのタイトル・ロゴ。作者名も同書体の英語表記で「OHTOMO KATSUHIRO」の英語表記にちなみ、「これもアールデコですが、収まりがこちらのほうがいいと思ったので。1920～1930年代に建てられたニューヨークの摩天楼、アールデコ系のも書体にも使われています。そしてこの摩天楼、本オ東京が破壊されて、第3部「平田ロゴ」になります。さらにOHTOMOからHを抜いたのも第3部から。新しい書体は忘れましたが、字づらが気に入らなかったのかなあ」。

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO

第41回～第126回までのタイトル・ロゴ。作者名も同書体の英語表記に、「最終章である第4部に入り、これだと思っていたものを使いました。最終ロゴに近い「AKIRA」本家のイメージだと思います。第41回はこのロゴのバックに、逆さまにしたものを適度で落として入れ、ロシア語みたいにしてました」なお、第41回は絵柄にある電車をタイトル・ロゴとして使用している。

AKIRA

発行本のタイトル・ロゴ。「インパクト」という書体の上部をカットしたもの。空想としてシンプルで、アメコミ風のバタキささがあるものとして、発行本全体のフォーマットにあわせて決められた。

アキラ

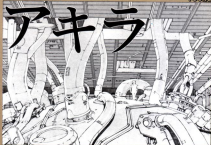
第1回～第38回までのタイトル・ロゴ。写植の太教科書体を使用したが、「キ」を大きくするなどギリウムを調整してある。それまでの大友作品の、シンプルでゴシックが明瞭性を小さくあしらったものとは一変した。重々配置された「書体は第1回の表紙のイメージにあわせた。アルファベットでもよかったんですが、おかしやするとインパクトを考えるとカタカナに、3文字の真ん中のバリエーションをやりつくした後、第38回では昔のスタイルのように小さく入れています。なお、第38回は定角レンズで右斜斜にしている。

アキラ

第49回～第71回までのタイトル・ロゴ。漫画家平田弘史の手によるもので、詳細は別ページに。第49回～第55回は作者名の代わりに、「KATSUHIRO OTOMO's」が入り、第56～第71回は漢字の「大友克洋」に替る、「書道っぽいロゴにしたかった。小さくまとまったらのより、はみでていく勢いのあるものが欲しかったんです。横に書いてみると真横のようにみえるという発見がありまして、第54回はそうしてあります」。

本誌SFアクション 第100号

YOUNG



Episode 19-33

perfect reproduction of
the title pages published
in Young Magazine

本誌SFアクション 第101号



大友克洋

本誌SFアクション 第102号



本誌SFアクション 第103号



大友克洋

本誌SFアクション 第104号



大友克洋

本誌SFアクション 第105号



大友克洋

本誌SFアクション 第106号



大友克洋



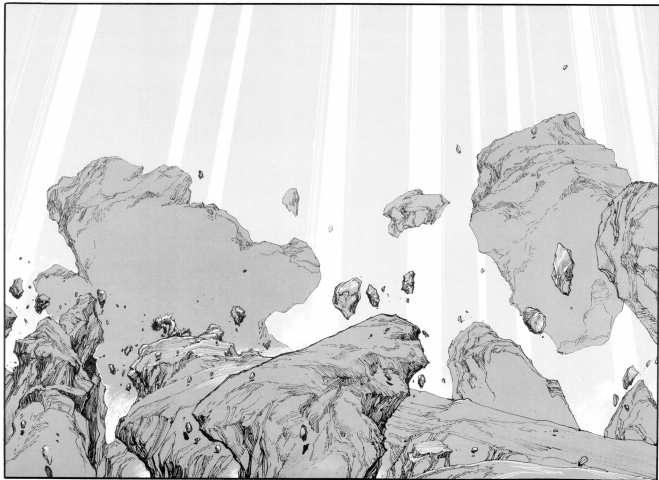
TITLE-PAGE COLLECTION

Episode 34-48



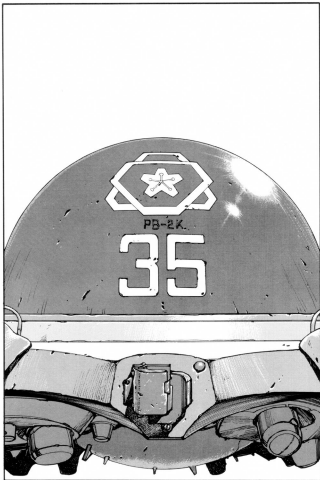
AKIRA

3



The page of Episode 034
Young Magazine (May 1, '98)

「岩がふくたいてきたので運動でもしようと思っています。」



Title page of Episode 005
Young Magazine Jan. 4, 1984

「この二つにボールがうまく入って
います。」



Title page of Episode 006
Young Magazine (Jan. 18, '96)

「アキラ」で第8回読者投票
賞を受賞しました。うれしいで
す。」



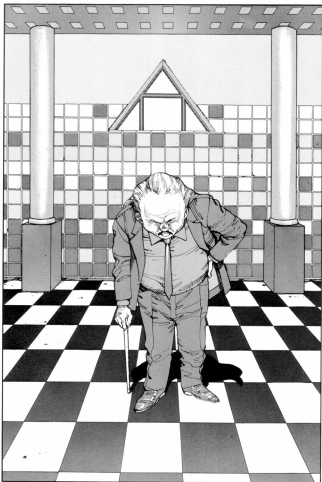
Title page of **Episode 007**
Young Magazine (Vol.2, '94)

「近所のゲームで友達をはじめ
ました。」あいたあとのサツナが
なやなやしています。」



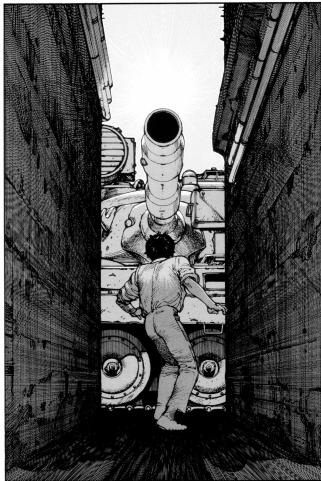
Title page of Episode 028
Young Magazine (Vol. 34, 35)

「もうすぐ『アキラ』の単行本が
出せそうです。」



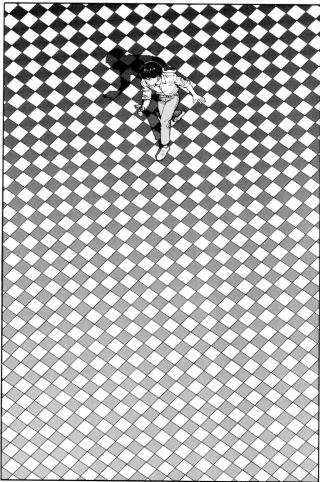
Title page of Episode 039
Young Magazine Aug. 25, 1992

「ベスト・リート・オブ・ファイ
ヤーズ」はが自分押しの夏の映画
を見に行きたいな」



Title page of Episode 048
Young Magazine (Sep. 3, 98)

「今年の仕事の星、目に輝いた
人は少ないです。」



Title page of **Episode 041**
Young Magazine (Sep. 17, '98)

「面白いだけの絵がはわって
よかったですね。」



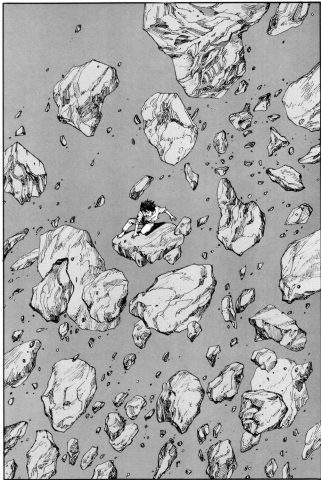
This page of *Episode 042*
Young Magazine (Oct. 1, 94)

「冷しくなってきたので、30分
でもしたいですね。」



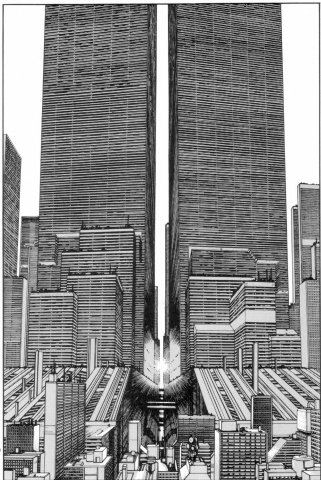
Title page of Episode 043
Young Magazine (Oct. 15, '94)

「涼しくなったので、どこかへ
旅行して暑どうふでも食べたいですね。」



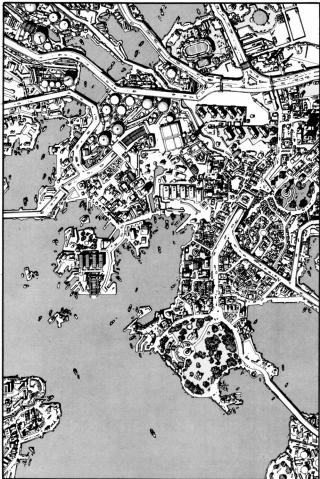
Title page of *Speed 544*
Young Magazine Nov. 5, 1981

「そろそろ大江戸時代劇のシーズンなので、今年はたくさん見たいですね。」



Title page of Episode 945
Young Magazine (Nov. 15, 94)

「本編に穴が空いてしまったので、うれしいですわ」



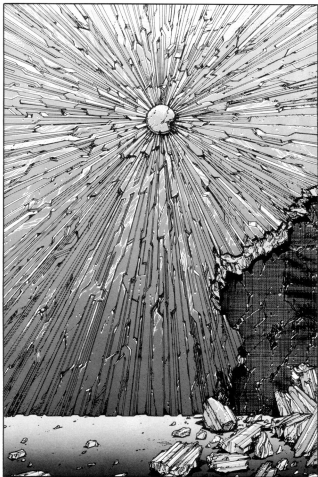
Title page of Episode 046
Young Magazine (Dec. 3, 1981)

「そろそろ水曜の楽しいのを買いに行きたいですね」



Title page of Episode 847
Young Magazine Dec. 17, 98

「お前達のシーズンもそろそろ
過ぎかえようと思っ
ていま
す。」



Title page of Episode 048
Young Magazine (Jan. 7, 99)

「読みます、食べます、おに
やかなるの類、動物を盗人とい
う勝っています」

巨大ロボット、新機軸!! アキラ

YOUNG

大

友

群

アキラ

Episode 34-48

*perfect reproduction of
the title pages published
in Young Magazine*

本誌SFアクション

第34号



雑誌誌録画付 最新機軸中巻作品



本誌SFアクション

第35号



本誌SFアクション

第36号



本誌SFアクション

第37号



本誌SFアクション

第38号



本誌のFアクション

84. *Journal of the American Medical Association*, 279, 1997, 1279-1282.



摩訶婆羅門一書，即自文後所載之興利，聖恩重顯之章中。

本誌SFアクション

甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥、



九、關於「中華民國」之解釋，應以「中華民國」為限，不得擴張解釋為「中華民國」之「中華民國」。

本誌SFアクション

● 42 ●

[illegible]

本誌SFアクション

1844



1	100
2	100
3	100
4	100
5	100
6	100
7	100
8	100
9	100
10	100
11	100
12	100
13	100
14	100
15	100
16	100
17	100
18	100
19	100
20	100
21	100
22	100
23	100
24	100
25	100
26	100
27	100
28	100
29	100
30	100
31	100
32	100
33	100
34	100
35	100
36	100
37	100
38	100
39	100
40	100
41	100
42	100
43	100
44	100
45	100
46	100
47	100
48	100
49	100
50	100
51	100
52	100
53	100
54	100
55	100
56	100
57	100
58	100
59	100
60	100
61	100
62	100
63	100
64	100
65	100
66	100
67	100
68	100
69	100
70	100
71	100
72	100
73	100
74	100
75	100
76	100
77	100
78	100
79	100
80	100
81	100
82	100
83	100
84	100
85	100
86	100
87	100
88	100
89	100
90	100
91	100
92	100
93	100
94	100
95	100
96	100
97	100
98	100
99	100
100	100

本雑誌Fアクション

謝志偉

[illegible]

本誌ではアクション

5440



計數範圍：0~9999

本場SFアクション

842



「這就叫做『不問不答』，不問不答，就是不問不答。」

本誌SFアクション

18-6730



10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846

AKIRA

4

TITLE-PAGE COLLECTION

Episode 49-71





AKIRA

AKIRA

AKIRA

AKIRA

「AKIRA」第3巻のタイトルロゴは漫画家、平田弘史[ひらた・ひろし]氏の筆文字である。早稲田氏は「漫画士魂」「時代別超人」「国産機士魂」などの代表作を持つ時代漫画の巨匠で、大友氏が私淑する漫画家の一人。強烈なドラマ性、両眼に注ぎ込まれた情熱とともに、平田氏の才能である「おのれー」「うぬー」「まゐらー」といった口癖を叩きつけるような雄大な文字が、第3巻のテーマである大東亜戦期の戦いのパワフルなイメージに合致するもので、ロゴを依頼してみようということになった。

1989年1月、平田氏は申し出る仲間、西沢実昭氏の介助にもらった仕事で「第3巻」に書き起こす原稿を整理されるや、エッセイとばかりにたまたま数十種類のロゴをものしとてくださった。ここに収録したのはその一部である。「AKIRA」第3巻の1回目(第40回)の扉ページを飾ったのは、その中から大友氏が選んだ決定稿。「題字/平田弘史」と銘打たれたこのロゴは、江戸時代流の「タイポ」にしたり、一部で装飾を呼んだ。また、この時の原稿があっけいとなって、大友氏は後に「平田弘史遺稿」全3巻(日本実業社刊)のデザインを手がけることになり、同書には「装幀/大友克洋」とある。

「題字/平田弘史」通称「平田ロゴ」について。

K A T S U H I R O
O T O M O ' S



PART 3



ROOM
COMPANY LTD.
OTOMO KATSUMOTO

脚本 平田弘史



Title page of Episode 040
Young Magazine (Mar. 4, 1991)

「新しい事が始まったので、がんばります。」



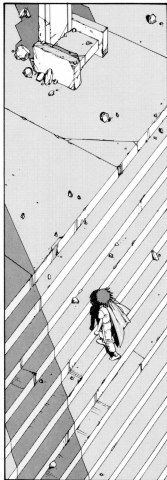
The page of Episode 050
Young Magazine (Mar. 18, '95)

「君はお花君が泣いて来て
うれいしてる。」

Title page of Episode 031
Young Magazine Apr. 3, 1991

「そろそろ旅行中の第2巻と
めに入りたいと思っています。」





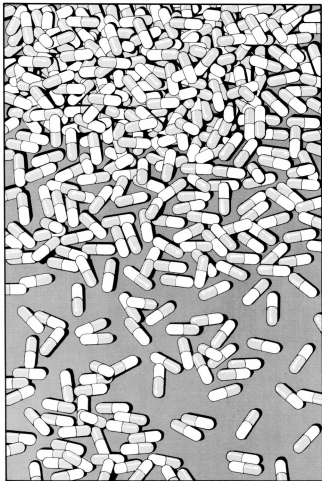
Title page of Episode 051
Young Magazine (Apr. 31, '95)

「おれは、いまだに、生きてる」
32



The page of Episode 051
Young Magazine (May 6, '95)

「仕事場に這が来て、足跡跡を
びっくりかえしたりして」困っ
ています」

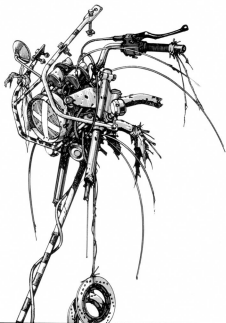


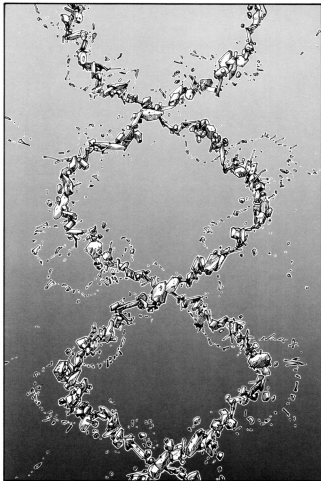
Title page of Episode 054
Young Magazine (May 26, 99)

「お母さん、自分で、自転車でも
走りたいですね。」

Title page of Episode 055
Young Magazine Dec. 3, 1991

「アシスタントとの関係に勝って、大敵（？）がこちらにみそうな状況です」





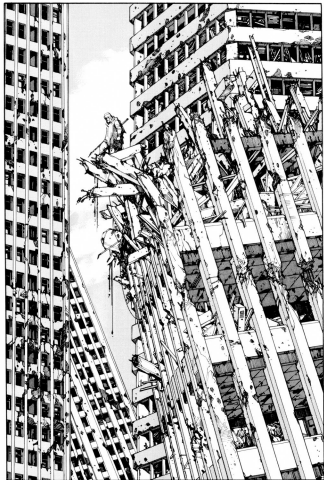
Title page of Episode 006
Young Magazine (Jan. 17, '92)

「どこかにあじさいでも影に行
きたいですね。」



Title page of Episode 057
Young Magazine Aug. 5, 98

「戦場にいるのって、やっぱり
よす、ア（おもしろい）ですわね」



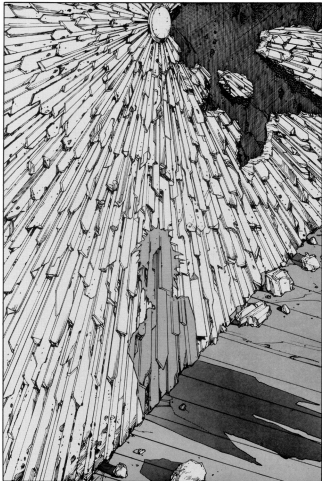
Title page of Episode 058
Young Magazine (Sep. 2, 1991)

「メカがこれほどで楽しい
のを観たことあります」



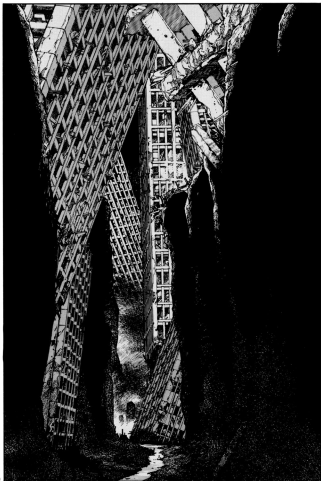
Title page of Episode 009
Young Magazine (Sep. 16, '90)

「9月16日の『アキラ』の巻頭扉の
裏表紙が『アキラ』の、よろしく。」



Title page of *Episode 000*
Young Magazine (Oct. 7, 88)

「この世のすべては、
すべて」



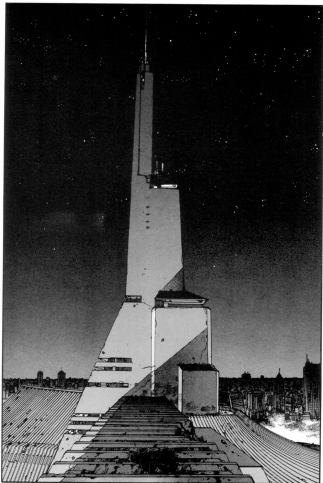
Title page of Episode 061
Young Magazine (Nov 4, '95)

「かみゆめらしい夢見のついでに
二巻の巻末でもしたいですね」



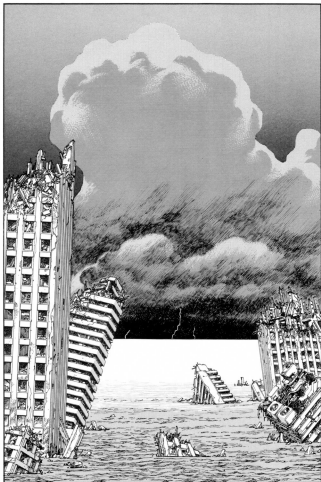
Title page of Episode 002
Young Magazine (Nov. 18, 1951)

「この破壊物と戦ってのために、
少者がはいんですわね。」



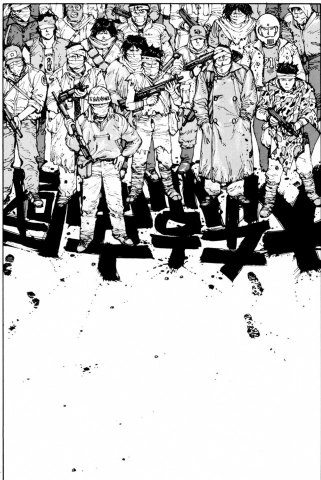
Title page of Episode 063
Young Magazine (Dec. 2, 1991)

●
「明日の星を見てきました」



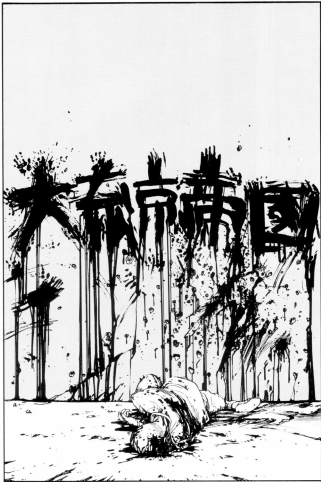
Title page of Episode 064
Young Magazine (Dec. 18, 95)

「ここから、はたして世界の運命が
変わっていきます」



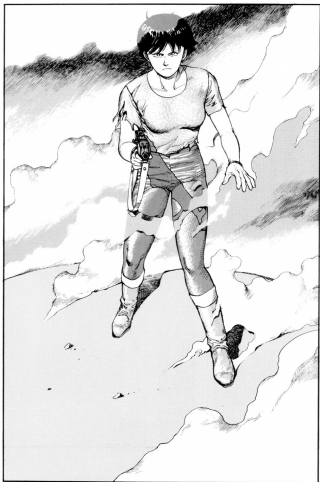
Title page of Episode 003
Young Magazine (Jan. 6, 1991)

「去年迄の連続なので、今年こそ終わめすぎないようにしたいですね。」



Title page of Episode 086
Young Magazine (Jan. 30, '90)

「新しいアシスタントが来りました。応援してくれた方、ありがとうございます。」



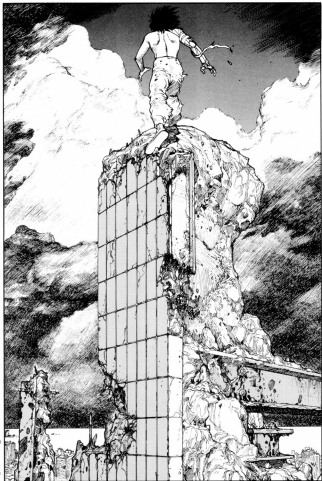
Title page of Episode 057
Young Magazine Feb. 11, 90

「お前買って、まだ売っていない
レーザーディスクがいろいろ
あります、見たい！」



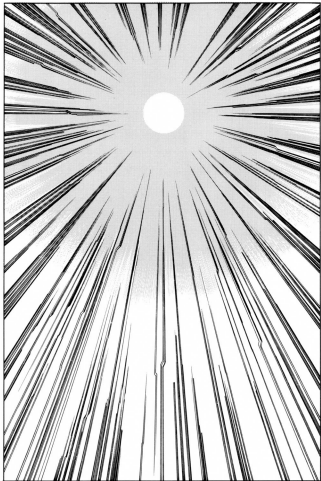
Title page of Episode 068
Young Magazine (Mar. 1, 2001)

「主役からつくっていった地獄ア
ニメーションが、そろそろ完成
の近こみです」



Title page of Episode 909
Young Magazine (Mar. 17, 99)

「近代東洋館の19世紀ドイツ
絵巻」も目に留まりました。」



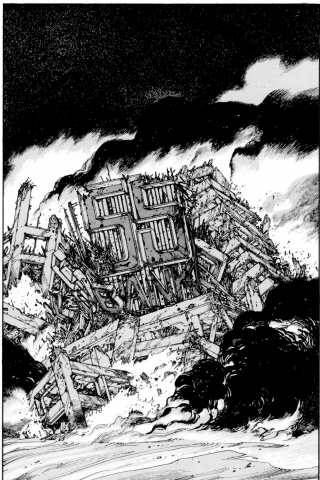
Title page of Episode 078
Young Magazine (Apr. 7, '98)



「この見出しのYは雑誌の発行に
関係イラストを描きました。T
シャツにもなります。」

Title page of Episode 071
Young Magazine Apr. 31, 96

「冒険に耐えきれないラスト島の海
を渡っています、危険に待っ
て下さい」





Episode 49-71

*perfect reproduction of
the title pages published
in Young Magazine*



本編SFアクション

第1巻



本編SFアクション

第2巻



本編SFアクション

第3巻



本編SFアクション

第4巻



本編SFアクション

第5巻



本編SFアクション

第6巻



本編SFアクション

第7巻



本編SFアクション

第8巻



本編SFアクション

第9巻



本編SFアクション

第1話



本編SFアクション

第2話



本編SFアクション

第3話



本編SFアクション

第4話



本編SFアクション

第5話



本編SFアクション

第6話



本編SFアクション

第7話



本編SFアクション

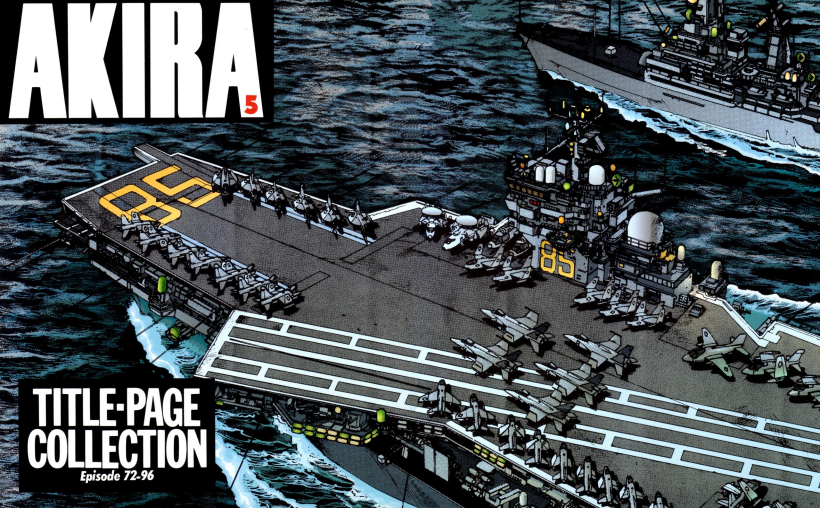
第8話

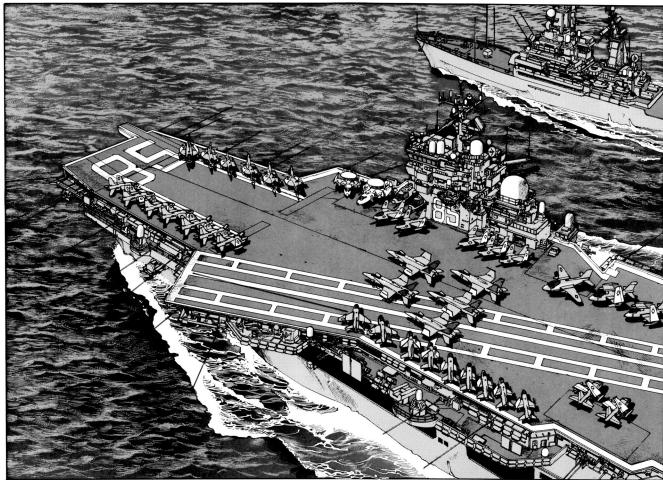


AKIRA⁵

**TITLE-PAGE
COLLECTION**

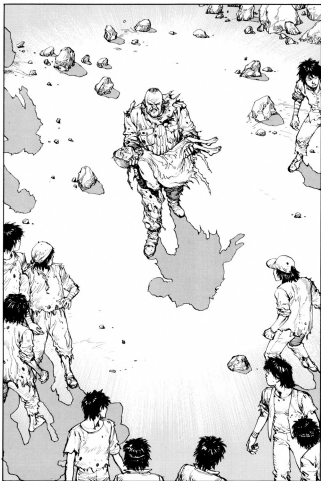
Episode 72-96





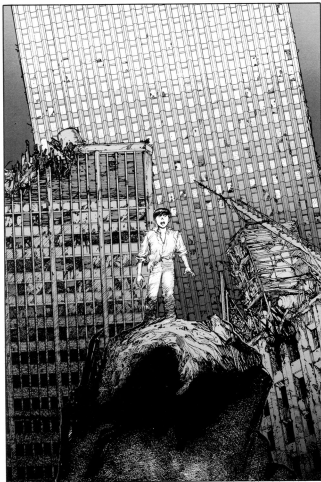
Title page of Episode 07:
Young Magazine (May 19, 98)

「アキラの飛行機3の機体直し
を始めた。もうすぐです
からお待ち下さい」



Title page of Episode 071
Young Magazine (Jan. 30, '90)

「新世代に乗って来ました。故
郷もよかったです。」



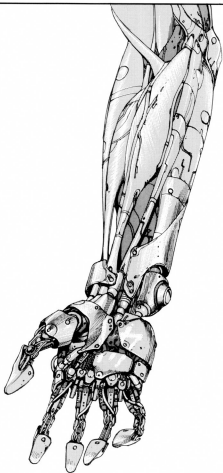
Title page of Episode 014
Young Magazine (Jul. 1, 90)

「本人の顔模様がうつっていてあ
ったので、お借りしました。」



Title page of Episode 075
Young Magazine (Jul 21, '96)

「顔の迷宮がもうすぐ完成
です」



This page of Episode 0/N
Young Magazine (Aug. 4, '98)

「ブーに付きたいな」と思っ
ています」



Title page of Episode 877
Young Magazine (Sep. 21, '90)

「星の海の星に手をつきよう
かな、と思っています。」



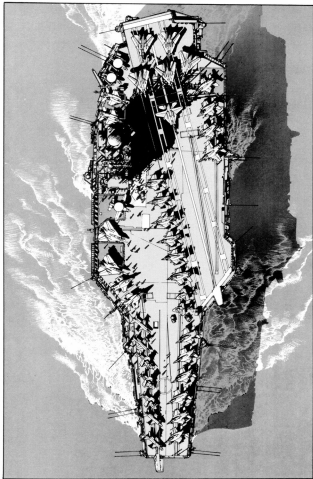
Title page of Episode 078
Young Magazine (Oct. 6, '90)

「ザンバク」AKIRA「ザンバク」
ハルノミヤジマ、デビッド・



Title page of Episode 879
Young Magazine Box 1, 90

「大膽にしていっぱん池が幹め
て、またーから見てなおきなけ
ればなりません。」



Title page of Episode 080
Young Magazine (Nov. 17, '86)

by

「金ころれスター・ウォーズの大
好きになりました。」



Title page of Episode 081
Young Magazine (Dec. 1, 90)

「ガンダム081の表紙のイラストを描きました。」



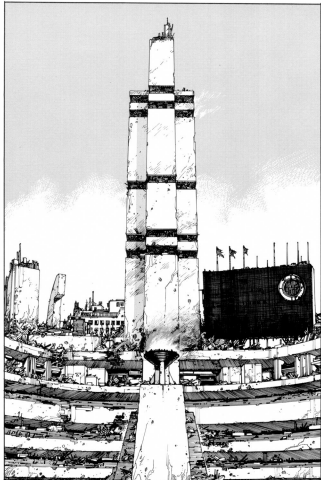
Title page of Episode 002
Young Magazine (Dec. 15, '99)

「今年も一冊仕事で暮れようとして
います。」これが胸に響いてくる



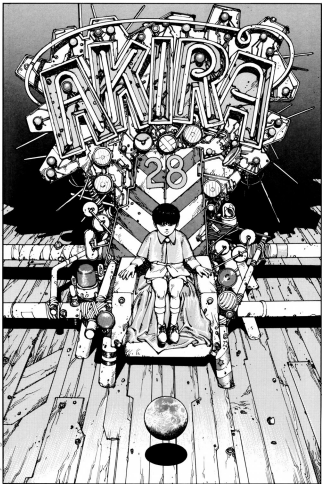
Title page of Episode 083
Young Magazine (Jan 5, '97)

「今回は足助が『佐渡島の金太郎』
の部屋で仕事をしています。」



Title page of Episode 048
Young Magazine (Jan. 18, '97)

「いま、胸が痛くてたいへんです」



Title page of Episode 085
Young Magazine (Feb. 16, 1979)

「機が壊れてアスリを動かしていきます。」



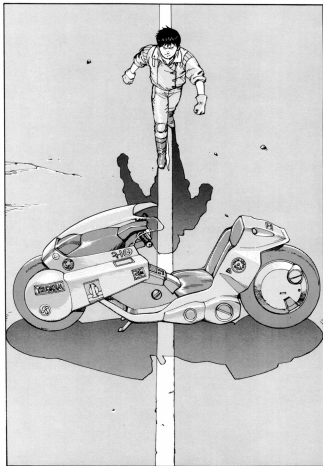
Site page of Episode 085
Young Magazine (Apr. 3, '97)

「アシスタントがタバコを吸
いたので、空気がまわっている香りを
えられそうです。」



Title page of Episode 087
Young Magazine (Apr. 26, '93)

「アキラのアニメ映画化準備のため、2か月ほど休ませていただきます。」



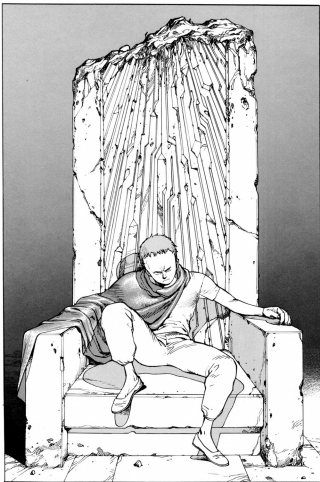
Title page of Episode 000
Young Magazine (Nov. 21, 98)

「またお会いしたのでしょし
ょ。」



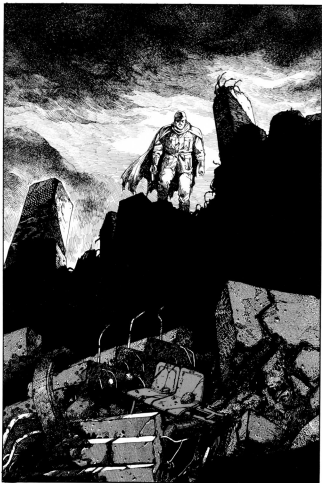
Title page of **Episode 089**
Young Magazine (Dec. 5, '98)

「向山園の描いた絵が『コロッ
さんのほみせ』がわたのでうれ
しいです」



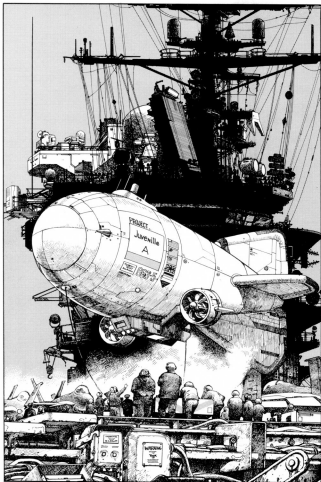
Title page of **Episode 000**
Young Magazine Dec. 10, 90

「久しぶりに帰国に呼んで、
Cもいっしょに買って来ました。」



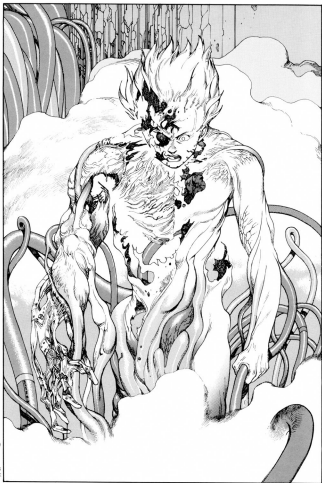
Title page of *Episode 08*
Young Magazine Jan. 18, '98

「アニメ『アキラ』、東映アニメーション
のため、アメリカ市場向けに作っ
て乗りました」



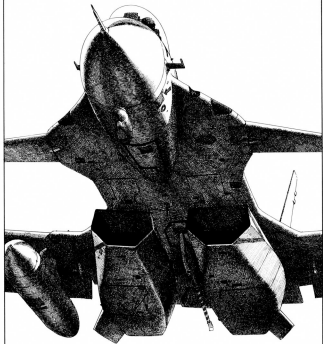
Title page of Episode 092
Young Magazine (Feb. 5, 201)

「FROM ONCE AGAIN WITH THE
MUSIC OF THE FUTURE」



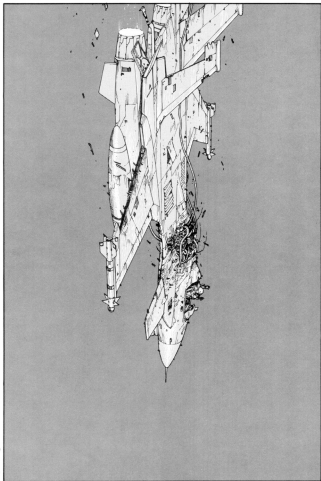
Title page of Episode 003
Young Magazine (Feb. 20, '99)

「サムライダークの最終形態が
もたらかった」恐ろしい存在
です」



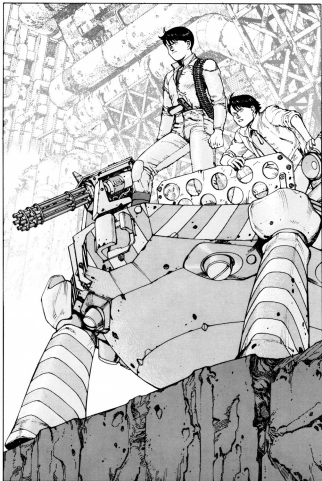
Title page of Episode 094
Young Magazine (Mar. 6, '98)

「平成の乱戦がだんだん少なくなりました。このままお別れいたします。」



Title page of **Episode 005**
Young Magazine (Mar. 26, '89)

「フルンタインのサコシ、ありがとうございました。」



Title page of **Episode 006**
Young Magazine (Apr. 3, 98)

「週刊誌記念ポスターを描いて
たんで、しんどかったです。」

最新パート4導入! アキラ

YOUNG



Episode 72-96

*perfect reproduction of
the title pages published
in Young Magazine*

本誌SFアクション

第72号



本誌SFアクション

第73号



本誌SFアクション

第74号



本誌SFアクション

第75号



本誌SFアクション

第76号



本誌SFアクション

第77号



本編SFアクション

第1巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第2巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第3巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第4巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第5巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第6巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第7巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第8巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第9巻

AKIRA

OTOMO KATSUHIRO



本編SFアクション

第1巻



本編SFアクション

第2巻



本編SFアクション

第3巻



本編SFアクション

第4巻



本編SFアクション

第5巻



本編SFアクション

第6巻



本編SFアクション

第7巻



本編SFアクション

第8巻



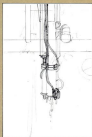
本編SFアクション

第9巻



タイトルページNGコレクション

NG原稿については後で詳しく特撮しているが、タイトルページのNGはここに集めてみた。原稿図の壁に貼出すものはあえて書かないので、当時の大塚氏の心の中(締め切りとアーティスト魂のせめぎあい！)を想像しながら楽しんでください。



AKIRA

A detailed illustration of a futuristic city with towering, dark skyscrapers. A bright orange and yellow light source, resembling a sun or explosion, is positioned in the center background. In the foreground, a line of small, dark, mechanical or robotic figures stands on a snowy, debris-covered ground. Radiating lines emanate from the ground in front of these figures, creating a sense of intense energy or movement. The overall style is reminiscent of classic comic book art.

6

TITLE-PAGE COLLECTION

Episode 97-120



Title page of Episode 087
Young Magazine (May 1, 1991)

「44」
「44」



Title page of Episode 006
Young Magazine (May 22, 1988)



「スティーブ・セリフ氏から、ニューエイジミュージックのCDをもらいました」



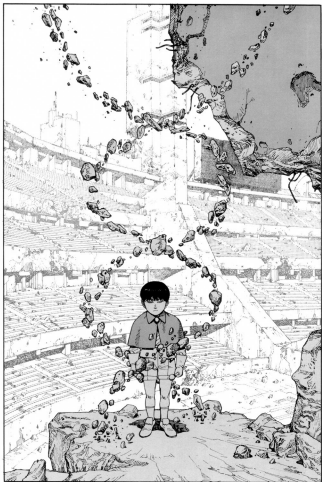
Title page of Episode 009
Young Magazine (Jan. 5, '98)

「仕事中心にながやすさんの陣
中見舞いに笑ってくれました。」



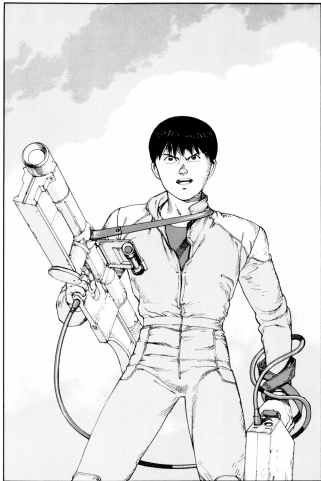
Title page of Episode 180
Young Magazine (Jan 15, '98)

「絶対にいっちゃんて大変です。」



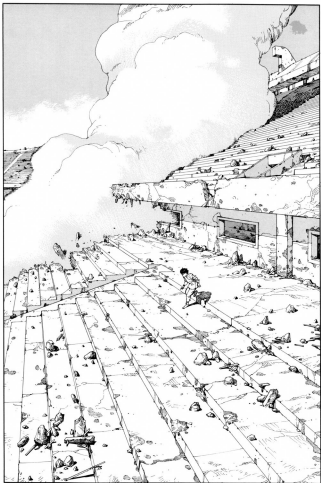
Title page of Episode 101
Young Magazine (Vol. 3, 198)

「人間ドックの結果で虫歯を取
ってしまったので、断歯をした
いた思います」



Title page of Episode 100
Young Magazine 134, 17, 1991

「漫画大ニ選」西野氏、47歳以下
漫画家とらななかったのが特
点です」



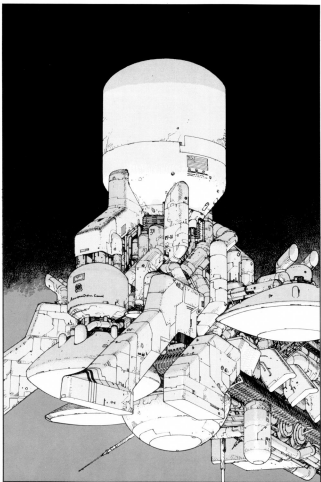
Title page of Episode 103
Young Magazine Ltd. 31, 98

「オのナミンゴのことオのオの
C」と言うのは私だけなんだよ
ようか？」



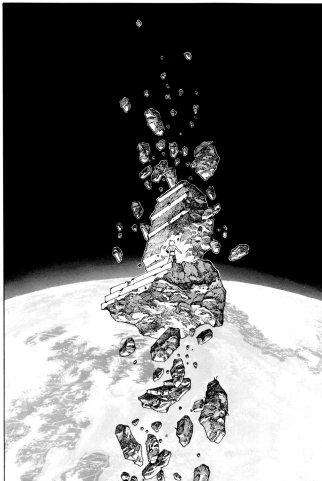
Title page of Episode 134
Young Magazine May 11, 1991

「イラス」第65巻のすべてが
わりました。あとはお見送り
を待つばかり！」



Title page of Episode 305
Young Magazine (Sep. 4, 1991)

「国産ガンダムシリーズのラスト
のステイプ・オリアが乗る、
案に選びに来ました。」



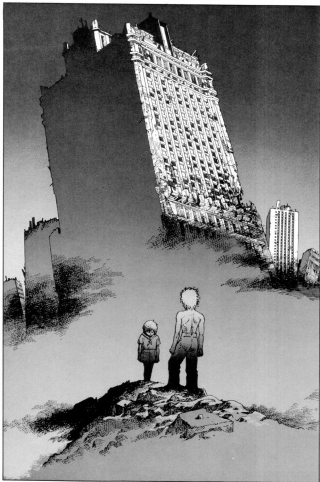
Title page of Episode 106
Young Magazine (Sep. 18, 99)

「世界中の地球環境を壊す」ともいふ
がなくなるのが寂しいです。」



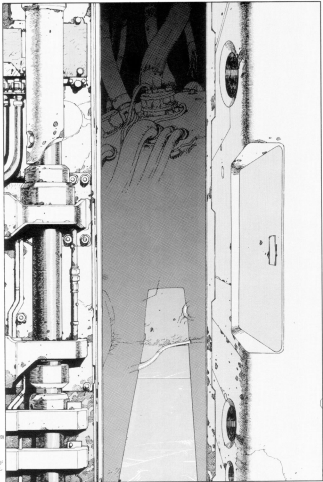
Title page of Episode 107
Young Magazine 131.35.98

「この世からみんなを救う
ために、僕はここにいます。」



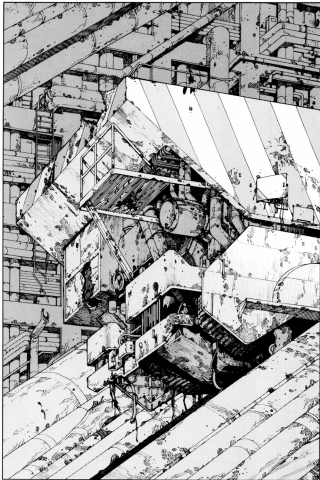
Title page of Episode 108
Young Magazine (Nov. 13, 1991)

「最近でスタッフがみんな帰ってしまっった。」



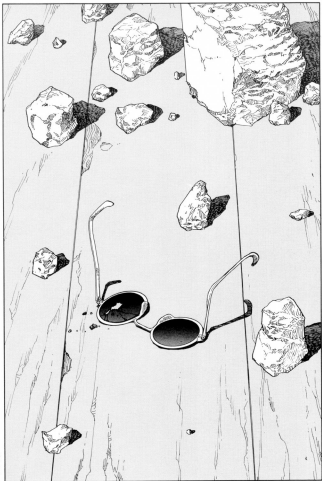
Title page of *Episode 109*
Young Magazine (Nov. 27, 200)

「今年の日産シリーズ」近頃が
あまりに構わない・負け方をし
たのでくやしい」



Title page of Episode 110
Young Magazine (Dec. 11, 1998)

「本拠地買いに行ったらいいものがないので博打。丁半のベルシンのニュースに感動して落し涙を流し、イモを焼いた。」



Title page of Episode 131
Young Magazine
(Jan. 8-14, '90)

「アニメ『AKIRA』の製作準備をしていた頃本さんがフジテレビのヤングリヤリオ大賞を受賞したので資金であってほしい」



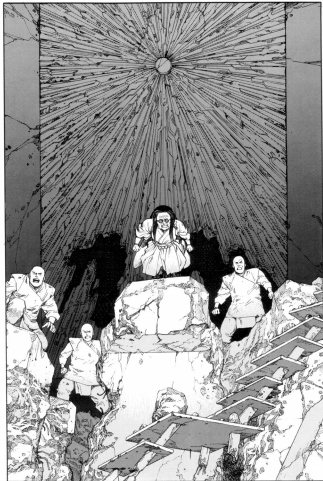
Title page of Episode 132
Young Magazine (Jan 27, '90)

「今年は果たして900万のぼろ
うがT。」



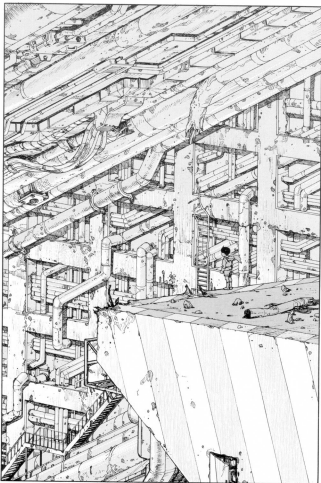
Title page of Episode 133
Young Magazine Feb. 5, '90

「原作と絵本を愛したオレシナ
ルアニメビデオを製作中です。」



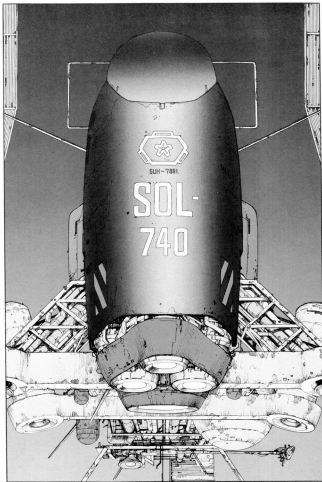
Title page of Episode 114
Young Magazine (Feb. 19, '90)

「このページのデザインは、
「Young Magazine」に掲載されています。」



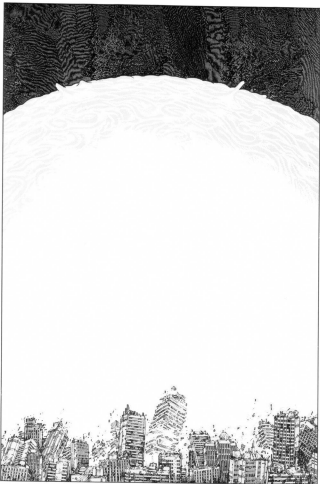
Title page of Episode 115
Young Magazine (Mar. 5, '90)

「2月21日のマノ・キダラのコ
ンサートに行きたいな」



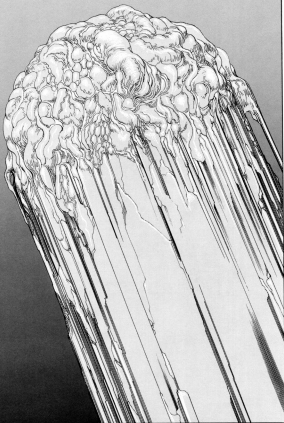
Title page of Episode 116
Young Magazine (Apr. 2, '90)

「仕事場のCカプレーターを物
使しすぎで壊れた」



Title page of Episode 117
Young Magazine (May 21, '98)

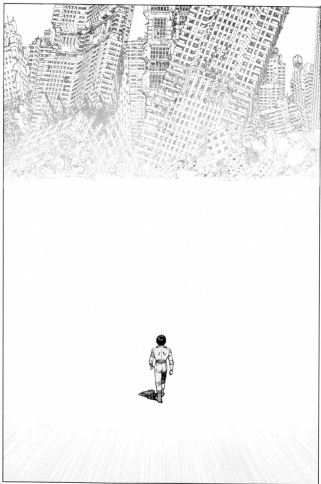
「フランスのロモッタフェアに
行ってもたぬ、いんらんは、
でしよって●しんらんは、
でしよ。」



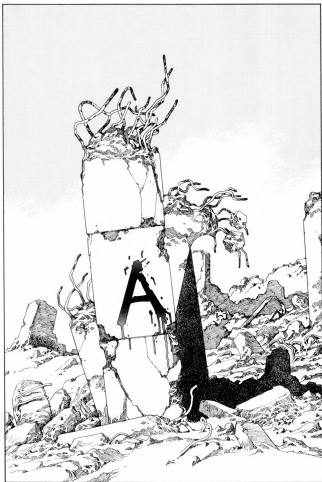
Title page of **Episode 118**
Young Magazine (May 28, '90)



「メスラット・ファッダー・アリー
ハーンを助けて行っちゃった。
自決に負けた。」



Title page of Episode 129
Young Magazine (Jan. 11, '90)



Title page of Episode 120
Young Magazine Oct. 15, '90

「ということで、また」

本誌SFアクション

第97号



本誌SFアクション

第97号



Episode 97-120

*perfect reproduction of
the title pages published
in Young Magazine*

本誌SFアクション

第98号



本誌SFアクション

第98号



本誌SFアクション

第98号



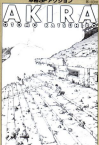
本誌SFアクション

第99号



本誌SFアクション

第99号



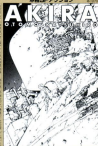
本誌SFアクション

第99号



本編SFアクション

第1巻



本編SFアクション

第2巻



本編SFアクション

第3巻



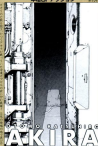
本編SFアクション

第4巻



本編SFアクション

第5巻



本編SFアクション

第6巻



本編SFアクション

第7巻



本編SFアクション

第8巻



本編SFアクション

第9巻



本誌SFアクション

第115号

AKIRA

OTOMO KATSUHIKO



本誌SFアクション

第116号

AKIRA

OTOMO KATSUHIKO



本誌SFアクション

第117号

AKIRA

OTOMO KATSUHIKO



本誌SFアクション

第118号

AKIRA

OTOMO KATSUHIKO



本誌SFアクション

第119号

AKIRA

OTOMO KATSUHIKO



本誌SFアクション

第120号

AKIRA

OTOMO KATSUHIKO



本誌SFアクション

第121号

AKIRA

OTOMO KATSUHIKO



MEMORIAL GALLERY

poster, leaflet, goods, and others



大友克洋の黙示録

the Apocalypse



アキラノメザメハチカヅイタ。

連載1周年直前特別カラー

AKIRA

アキラ/K.OHTOMO

第三次世界大戦後のネオ東京にくり広げられる
本格SFアクション。地下深く眠りつづける
アキラとは、はたして何者なのか?アキラが
目覚めると、いったい何が起こるのか?
ドラマはいよいよ漫画史上かつて
なかった巨大な熱心へと
つき進んでゆく……



ヤングマガジン YOUNG

★No.22 11月21日号 ★ドラマチックに発売中/ 毎月第1・第3月曜日発売 ★定価200円 講談社

NOW AKIRA IS WAKING UP!

INTO SUPER ACTION

“アキラ”

**KATSUHIRO
OHTOMO**

TABLE 4. SUMMARY OF RESEARCH FINDINGS

...the ...

YOUNG



ヤンデマダシンの3年1月2日号の電車中語りポスター。
イラストは第4回、第5回、第8回の挿絵を組み合わせたもの。

100万Vの“アキラショックだぜ!”

AKIRA

大友克洋

PART 4 (續)
 第四部分 (續)
 本部分為本報之第四部分，內容為本報之第四部分。

Country	1980	1985	1990	1995	2000
Japan	18.5	19.5	20.5	21.5	22.5
France	15.5	16.5	17.5	18.5	19.5
Germany	14.5	15.5	16.5	17.5	18.5
Italy	13.5	14.5	15.5	16.5	17.5
Spain	12.5	13.5	14.5	15.5	16.5
United Kingdom	11.5	12.5	13.5	14.5	15.5
Sweden	10.5	11.5	12.5	13.5	14.5
United States	9.5	10.5	11.5	12.5	13.5

AKIRA

1/24 1/25 1/26 1/27 1/28 1/29 1/30 1/31 2/1 2/2 2/3 2/4 2/5 2/6 2/7 2/8 2/9 2/10 2/11 2/12 2/13 2/14 2/15 2/16 2/17 2/18 2/19 2/20 2/21 2/22 2/23 2/24 2/25 2/26 2/27 2/28 2/29 3/1 3/2 3/3 3/4 3/5 3/6 3/7 3/8 3/9 3/10 3/11 3/12 3/13 3/14 3/15 3/16 3/17 3/18 3/19 3/20 3/21 3/22 3/23 3/24 3/25 3/26 3/27 3/28 3/29 3/30 3/31 4/1 4/2 4/3 4/4 4/5 4/6 4/7 4/8 4/9 4/10 4/11 4/12 4/13 4/14 4/15 4/16 4/17 4/18 4/19 4/20 4/21 4/22 4/23 4/24 4/25 4/26 4/27 4/28 4/29 4/30 5/1 5/2 5/3 5/4 5/5 5/6 5/7 5/8 5/9 5/10 5/11 5/12 5/13 5/14 5/15 5/16 5/17 5/18 5/19 5/20 5/21 5/22 5/23 5/24 5/25 5/26 5/27 5/28 5/29 5/30 5/31 6/1 6/2 6/3 6/4 6/5 6/6 6/7 6/8 6/9 6/10 6/11 6/12 6/13 6/14 6/15 6/16 6/17 6/18 6/19 6/20 6/21 6/22 6/23 6/24 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 7/1 7/2 7/3 7/4 7/5 7/6 7/7 7/8 7/9 7/10 7/11 7/12 7/13 7/14 7/15 7/16 7/17 7/18 7/19 7/20 7/21 7/22 7/23 7/24 7/25 7/26 7/27 7/28 7/29 7/30 7/31 8/1 8/2 8/3 8/4 8/5 8/6 8/7 8/8 8/9 8/10 8/11 8/12 8/13 8/14 8/15 8/16 8/17 8/18 8/19 8/20 8/21 8/22 8/23 8/24 8/25 8/26 8/27 8/28 8/29 8/30 8/31 9/1 9/2 9/3 9/4 9/5 9/6 9/7 9/8 9/9 9/10 9/11 9/12 9/13 9/14 9/15 9/16 9/17 9/18 9/19 9/20 9/21 9/22 9/23 9/24 9/25 9/26 9/27 9/28 9/29 9/30 10/1 10/2 10/3 10/4 10/5 10/6 10/7 10/8 10/9 10/10 10/11 10/12 10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31 11/1 11/2 11/3 11/4 11/5 11/6 11/7 11/8 11/9 11/10 11/11 11/12 11/13 11/14 11/15 11/16 11/17 11/18 11/19 11/20 11/21 11/22 11/23 11/24 11/25 11/26 11/27 11/28 11/29 11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/22 12/23 12/24 12/25 12/26 12/27 12/28 12/29 12/30 12/31

AKIRA

1/24 1/25 1/26 1/27 1/28 1/29 1/30 1/31 2/1 2/2 2/3 2/4 2/5 2/6 2/7 2/8 2/9 2/10 2/11 2/12 2/13 2/14 2/15 2/16 2/17 2/18 2/19 2/20 2/21 2/22 2/23 2/24 2/25 2/26 2/27 2/28 2/29 3/1 3/2 3/3 3/4 3/5 3/6 3/7 3/8 3/9 3/10 3/11 3/12 3/13 3/14 3/15 3/16 3/17 3/18 3/19 3/20 3/21 3/22 3/23 3/24 3/25 3/26 3/27 3/28 3/29 3/30 3/31 4/1 4/2 4/3 4/4 4/5 4/6 4/7 4/8 4/9 4/10 4/11 4/12 4/13 4/14 4/15 4/16 4/17 4/18 4/19 4/20 4/21 4/22 4/23 4/24 4/25 4/26 4/27 4/28 4/29 4/30 5/1 5/2 5/3 5/4 5/5 5/6 5/7 5/8 5/9 5/10 5/11 5/12 5/13 5/14 5/15 5/16 5/17 5/18 5/19 5/20 5/21 5/22 5/23 5/24 5/25 5/26 5/27 5/28 5/29 5/30 5/31 6/1 6/2 6/3 6/4 6/5 6/6 6/7 6/8 6/9 6/10 6/11 6/12 6/13 6/14 6/15 6/16 6/17 6/18 6/19 6/20 6/21 6/22 6/23 6/24 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 7/1 7/2 7/3 7/4 7/5 7/6 7/7 7/8 7/9 7/10 7/11 7/12 7/13 7/14 7/15 7/16 7/17 7/18 7/19 7/20 7/21 7/22 7/23 7/24 7/25 7/26 7/27 7/28 7/29 7/30 7/31 8/1 8/2 8/3 8/4 8/5 8/6 8/7 8/8 8/9 8/10 8/11 8/12 8/13 8/14 8/15 8/16 8/17 8/18 8/19 8/20 8/21 8/22 8/23 8/24 8/25 8/26 8/27 8/28 8/29 8/30 8/31 9/1 9/2 9/3 9/4 9/5 9/6 9/7 9/8 9/9 9/10 9/11 9/12 9/13 9/14 9/15 9/16 9/17 9/18 9/19 9/20 9/21 9/22 9/23 9/24 9/25 9/26 9/27 9/28 9/29 9/30 10/1 10/2 10/3 10/4 10/5 10/6 10/7 10/8 10/9 10/10 10/11 10/12 10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31 11/1 11/2 11/3 11/4 11/5 11/6 11/7 11/8 11/9 11/10 11/11 11/12 11/13 11/14 11/15 11/16 11/17 11/18 11/19 11/20 11/21 11/22 11/23 11/24 11/25 11/26 11/27 11/28 11/29 11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/22 12/23 12/24 12/25 12/26 12/27 12/28 12/29 12/30 12/31

AKIRA

1/24 1/25 1/26 1/27 1/28 1/29 1/30 1/31 2/1 2/2 2/3 2/4 2/5 2/6 2/7 2/8 2/9 2/10 2/11 2/12 2/13 2/14 2/15 2/16 2/17 2/18 2/19 2/20 2/21 2/22 2/23 2/24 2/25 2/26 2/27 2/28 2/29 3/1 3/2 3/3 3/4 3/5 3/6 3/7 3/8 3/9 3/10 3/11 3/12 3/13 3/14 3/15 3/16 3/17 3/18 3/19 3/20 3/21 3/22 3/23 3/24 3/25 3/26 3/27 3/28 3/29 3/30 3/31 4/1 4/2 4/3 4/4 4/5 4/6 4/7 4/8 4/9 4/10 4/11 4/12 4/13 4/14 4/15 4/16 4/17 4/18 4/19 4/20 4/21 4/22 4/23 4/24 4/25 4/26 4/27 4/28 4/29 4/30 5/1 5/2 5/3 5/4 5/5 5/6 5/7 5/8 5/9 5/10 5/11 5/12 5/13 5/14 5/15 5/16 5/17 5/18 5/19 5/20 5/21 5/22 5

* 雑誌 * 3,2月号 * 毎月第1週3日曜日発売 * 郵政省指定郵便物 * 毎週連続して発売中 * * 定価450円 * 送料別

ヤングマガジン 34年10月！当分の編集中心がスター・イラストは流行色！巻頭カラーはのびのびに登場！

「アキラ」
本年度最終最大のSFアクションスパー新連載
二十世紀最後の奇子
大友克洋

第三次大戦カラ三十年
復興シツツアル日本ニ
オソルベキ少年アキラ
ガメザメタ

舞子^{マイコ}ミステリ明日^{アス}

ヤングマガジン
YOUNG Magazine

★キミにスペシャル大感謝/ アメリカ
映画輸入決定版「E.T.」商品をプレゼント
毎月第1・第3月曜日は発売 定価200円
ミステリアスに発売中/ 国産社

「AKB48」新選組を告知するヤングマガジン
32年12月30日号の電車中乗りポスター。
同号の表紙用イラストを採用。ただし表紙は
この絵にヤザイタ紋様を施している。



ヤングマガジン 88年11月11日号の電撃中巻りポスター。
同号の表紙用イラストを流用。



ヤングマガジン 88年12月10日号の電撃中巻りポスター。
同号の表紙用イラストを流用。



単行本主巻の巻頭用挿画15枚。
同じデザインの表紙版も作製された。



運れることの多かった大友作品が予定通り出るともアピールする写真予告。



ヤングマガジン 34年 9月 1日号に掲載された単行本 1巻の発売予告記事。



ヤングマガジン 35年 8月 16日号に掲載された単行本 2巻の発売予告記事。



ヤングマガジン 35年 9月 2日号に掲載された単行本 2巻の発売予告記事。



ヤングマガジン 34年 10月 1日号に掲載された単行本 1巻の発売予告記事。



ヤングマガジン 36年 4月 12日号に掲載された単行本 6巻の広告記事。



ヤングマガジン 36年 1月 15日号に掲載された単行本 6巻の発売予告記事。



ヤングマガジン 36年 1月 1・15日合併号に掲載された単行本 5巻の発売予告記事。

A.D.2020, We Meet Neo-Crisis・Scene of Neo-Tokyo by AKIRA!

歓声、止まず。



OTOMO KATSUHIRO

AKIRA



PART1 全巻
定価 1000円



PART2 アキラI
定価 800円



AKIRA BOOKING GROUP

9

※本誌は、本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。



PART3
アキラII



9月1日(月)発売!

■書店予約受付開始!!

SPECIAL PRICE 880yen 送料別

- A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P・Q・R・S・T・U・V・W・X・Y・Z・AA・AB・AC・AD・AE・AF・AG・AH・AI・AJ・AK・AL・AM・AN・AO・AP・AQ・AR・AS・AT・AU・AV・AW・AX・AY・AZ・BA・BB・BC・BD・BE・BF・BG・BH・BI・BJ・BK・BL・BM・BN・BO・BP・BQ・BR・BS・BT・BU・BV・BW・BX・BY・BZ・CA・CB・CC・CD・CE・CF・CG・CH・CI・CJ・CK・CL・CM・CN・CO・CP・CQ・CR・CS・CT・CU・CV・CW・CX・CY・CZ・DA・DB・DC・DD・DE・DF・DG・DH・DI・DJ・DK・DL・DM・DN・DO・DP・DQ・DR・DS・DT・DU・DV・DW・DX・DY・DZ・EA・EB・EC・ED・EE・EF・EG・EH・EI・EJ・EK・EL・EM・EN・EO・EP・EQ・ER・ES・ET・EU・EV・EW・EX・EY・EZ・FA・FB・FC・FD・FE・FF・FG・FH・FI・FJ・FK・FL・FM・FN・FO・FP・FQ・FR・FS・FT・FU・FV・FW・FX・FY・FZ・GA・GB・GC・GD・GE・GF・GG・GH・GI・GJ・GK・GL・GM・GN・GO・GP・GQ・GR・GS・GT・GU・GV・GW・GX・GY・GZ・HA・HB・HC・HD・HE・HF・HG・HH・HI・HJ・HK・HL・HM・HN・HO・HP・HQ・HR・HS・HT・HU・HV・HW・HX・HY・HZ・IA・IB・IC・ID・IE・IF・IG・IH・II・IJ・IK・IL・IM・IN・IO・IP・IQ・IR・IS・IT・IU・IV・IW・IX・IY・IZ・JA・JB・JC・JD・JE・JF・JG・JH・JI・JJ・JK・JL・JM・JN・JO・JP・JQ・JR・JS・JT・JU・JV・JW・JX・JY・JZ・KA・KB・KC・KD・KE・KF・KG・KH・KI・KJ・KK・KL・KM・KN・KO・KP・KQ・KR・KS・KT・KU・KV・KW・KX・KY・KZ・LA・LB・LC・LD・LE・LF・LG・LH・LI・LJ・LK・LL・LM・LN・LO・LP・LQ・LR・LS・LT・LU・LV・LW・LX・LY・LZ・MA・MB・MC・MD・ME・MF・MG・MH・MI・MJ・MK・ML・MM・MN・MO・MP・MQ・MR・MS・MT・MU・MV・MW・MX・MY・MZ・NA・NB・NC・ND・NE・NF・NG・NH・NI・NJ・NK・NL・NM・NN・NO・NP・NQ・NR・NS・NT・NU・NV・NW・NX・NY・NZ・OA・OB・OC・OD・OE・OF・OG・OH・OI・OJ・OK・OL・OM・ON・OO・OP・OQ・OR・OS・OT・OU・OV・OW・OX・OY・OZ・PA・PB・PC・PD・PE・PF・PG・PH・PI・PJ・PK・PL・PM・PN・PO・PP・PQ・PR・PS・PT・PU・PV・PW・PX・PY・PZ・QA・QB・QC・QD・QE・QF・QG・QH・QI・QJ・QK・QL・QM・QN・QO・QP・QQ・QR・QS・QT・QU・QV・QW・QX・QY・QZ・RA・RB・RC・RD・RE・RF・RG・RH・RI・RJ・RK・RL・RM・RN・RO・RP・RQ・RR・RS・RT・RU・RV・RW・RX・RY・RZ・SA・SB・SC・SD・SE・SF・SG・SH・SI・SJ・SK・SL・SM・SN・SO・SP・SQ・SR・SS・ST・SU・SV・SW・SX・SY・SZ・TA・TB・TC・TD・TE・TF・TG・TH・TI・TJ・TK・TL・TM・TN・TO・TP・TQ・TR・TS・TT・TU・TV・TW・TX・TY・TZ・UA・UB・UC・UD・UE・UF・UG・UH・UI・UJ・UK・UL・UM・UN・UO・UP・UQ・UR・US・UT・UU・UV・UW・UX・UY・UZ・VA・VB・VC・VD・VE・VF・VG・VH・VI・VJ・VK・VL・VM・VN・VO・VP・VQ・VR・VS・VT・VU・VV・VW・VX・VY・VZ・WA・WB・WC・WD・WE・WF・WG・WH・WI・WJ・WK・WL・WM・WN・WO・WP・WQ・WR・WS・WT・WU・WV・WW・WX・WY・WZ・XA・XB・XC・XD・XE・XF・XG・XH・XI・XJ・XK・XL・XM・XN・XO・XP・XQ・XR・XS・XT・XU・XV・XW・XX・XY・XZ・YA・YB・YC・YD・YE・YF・YG・YH・YI・YJ・YK・YL・YM・YN・YO・YP・YQ・YR・YS・YT・YU・YV・YW・YX・YY・YZ・ZA・ZB・ZC・ZD・ZE・ZF・ZG・ZH・ZI・ZJ・ZK・ZL・ZM・ZN・ZO・ZP・ZQ・ZR・ZS・ZT・ZU・ZV・ZW・ZX・ZY・ZZ

■注意事項

本誌は、本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。

本誌は、本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。本誌の発行元、集英社から、7月、8月、9月の3ヶ月間、全国の書店に無料配布されます。





他にも「AKIRA」グッズの中でも、最も多く製作されたのはTシャツ・トレーナー類であった。
「アキラTシャツは今でも愛用しています。上の単行本表紙を使ったTシャツは、3巻のものからにじみが出てきて、すごくいい色が出るようになりました。でも読者プレゼント用Tシャツは別では見かけませんね。みんな集めて保存しているんですよ。結構よく見かけるのは海苔屋Tシャツです。吉神寺や新宿のタカノバーで若い人が着ているのを見ると、「へー」という感じがします。それから、ロサンゼルスでスティーブ・オリアさんに会った時、彼が読者プレゼント用Tシャツを着ているのには驚きました。どこで入手したんだろう」



ヤンダマガジン 38年1月16日号の読者プレゼント用には「AKIRA」アートバッグが制作された。規定1000個の抽選も周年記念グッズ。デザインも担当した大友良史「つらい道」の間にヤンダマガジンの仕事は楽しかった。決定デザインは大友の写真参照。

ヤンダマガジン 38年1月16日号の読者プレゼント用には「AKIRA」アートバッグが制作された。規定1000個の抽選も周年記念グッズ。デザインも担当した大友良史「つらい道」の間にヤンダマガジンの仕事は楽しかった。決定デザインは大友の写真参照。



フロントバッグのサイズは480mm×421mm。
「キャラクターグッズにはしたくありません
でした。みんなて実際に使えるようなバッグ
にしたかったんです」

「僕は顔が大きいのですが、後ろがゴムにな
っているグリーサイズなので、ちゃんと入り
ました。でも似合いません。やっぱり帽子は
顔の小さい人が似合うなー、と思いました」

SHUMATSU

MANE



日本一有名な雑誌「SHUMATSU」の表紙デザイン。大塚一博が「SHUMATSU」の表紙デザインを担当した。表紙のデザインは、大塚一博が「SHUMATSU」の表紙デザインを担当した。表紙のデザインは、大塚一博が「SHUMATSU」の表紙デザインを担当した。



「1970年代のファッション・アート・デザイン」の展覧会が、東京の森美術館で開催されている。この展覧会では、1970年代のファッション・アート・デザインの世界が、様々な角度から紹介されている。特に、この展覧会では、1970年代のファッション・アート・デザインの世界が、様々な角度から紹介されている。特に、この展覧会では、1970年代のファッション・アート・デザインの世界が、様々な角度から紹介されている。特に、この展覧会では、1970年代のファッション・アート・デザインの世界が、様々な角度から紹介されている。



旅行客と集めたパース画のために制作されたオリジナル絵本。全高144cm。総費用約18万円。大友美氏が輸入したラフを基に、上村真人が色紙で作り直し、メカモデルも手描した絵が特徴。流石絵下描の能力によって完成した。

ヤンダマガジンの機体プレゼント用に企画された「ヤンダマ」。下は大友氏によるラフ。手裏の機体で実現には至らなかった。



1/35スケール全長約144cmの金田バイク。バンダイ製品。金田のミニチュア運動服評論も入った箱だった作り。

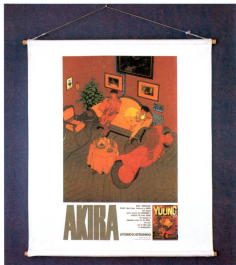


アニメの雑誌掲載の物として制作された原寸大金田バイク。キャンペーンでイギリスに運ったま方向不明に。現在はイギリスのマニアが所持しているという説もある。





単行本4巻のカバー画のために制作されたオリジナル・ピンボールマシン。機タイマーが提供してくれたマシンに、大友がアニメのセル画を切り張りして完成した。また、上の写真に出ているのは大友氏の愛猫。自らが入れ蓋を飾ったものである。



ヤングマガジン 33年1月5日号の読者プレゼント用に「AKIRA」タブースターが製作された。規定10枚のプレゼントで、お店はブレイクアム価格1万円という値もある。



大友の愛猫・猫をモチーフにしたポスター。



主人公の乗る、愛車「ゴジラ」をモチーフにしたポスター。



主人公の乗る、愛車「ゴジラ」をモチーフにしたポスター。





AKIRA

INSTRUCTIONS 3 BALLS PER PLAYER
 1. INSERT COIN AND PRESS START TO BEGIN PLAY.
 2. BALLS ARE LAUNCHED FROM THE BASE TO HIT THE BALL.
 3. HITTING THE BALLS WILL LAUNCH THEM INTO THE AIR.
 4. HITTING THE BALLS WILL LAUNCH THEM INTO THE AIR.
 5. HITTING THE BALLS WILL LAUNCH THEM INTO THE AIR.

FLIPPER
 BUTTONS

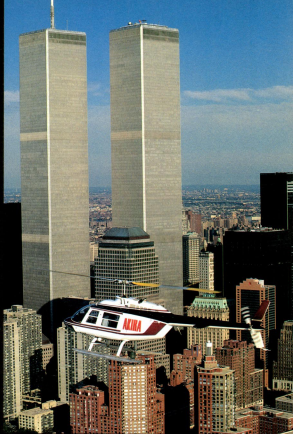
Young Magazine

Shogakukan Ltd., Publishers
 1-2-1, Ginza 6-chome, Minato-ku, Tokyo 100, Japan

1. REPLAY FOR EACH SCORE OF 10,000 POINTS
 2. REPLAY FOR EACH SCORE OF 20,000 POINTS



映画の劇場案内板。撮影地はアメリカの
アトランタ。



フランス版「AKIRA」の広告。撮影
地はコミック・コンベンションが開催され、
クルーゾーの地。出版元のダレス社は数10年
前に撮影するほどの力を入れた。

アメリカでのアニメ公開を記念して、ニュー
ヨーク市上でヤンタマゴジ映画祭を開催
した。自らの女神の像をハリウッドスター
像に勝ったのは、19年12月19日号だった。



ヤングマガジン 18年12月18日号のグラフィック写真展、ニューヨーク・ブロンクスでのロケは
ガードマン付きで撮影された。



アメリカ版「AKIRA」の宣伝ポスター。企画元はマーベル社。
撮影地はニューヨーク・ブロードウェイ。



Neo-Tokyo is about to E • X • P • L • O • D • E



AKIRA

Based on the Graphic Novel by KATSUHIRO OTOMO

Art Director TOSHIHARU MIZUTANI • Chief Animator TAKASHI NAKAMURA •
Scenario IZO HASHIMOTO • Music SHOJI YAMASHIRO • Producer RYDHEI SUZUKI
Character Design / Script / Direction KATSUHIRO OTOMO

Released by STREAMLINE PICTURES

© 1988 AKIRA COMMITTEE



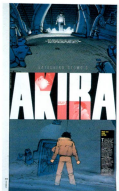
グレン社が作成したポスター。「暴力的で、美しい」というキャッチコピーが聞かれている。



タチバナ社が制作したポスターの真・金魚の絵が、



インドネシア劇場の宣伝ポスター。



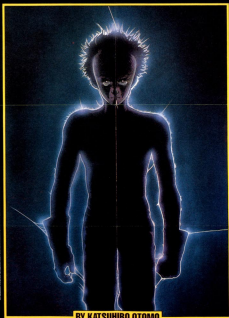
国際版「AKIRA」の読者プレゼント用ポスター。

読者コミックの表紙・パンフレット。海外各国社への版權販売に使用された。



38 YEARS AFTER WORLD WAR III...

AKIRA



BY KATSUHIRO OTOMO

ENGLISH LANGUAGE ADAPTATION BY JO DUFFY • COLORED BY STEVE OLIFF
FULL COLOR/64 PAGE/BOOKSHELF FORMAT SERIES • MONTHLY FROM EPIC COMICS

アメリカ版の雑誌『Epic Comics』に掲載された、新井浩之によるカラー版のイラスト。



MAKING FOREIGN EDITIONS OF AKIRA

国際版の出版によって、世界中で熱狂的支持を受けた「AKIRA」は、その国際版を制作するためには、種々な問題をクリアしなければならなかった。第一の大きな壁は英語版の日本語原稿をアルファベット対応の文字に直すこと。原稿を正確に忠実に直すだけでなく、読み文字のなまけな感じや意味の損傷に気を配るべく、大友の太極な知識や都市の知識があった。第二の大きな壁は当時の教養コミックやオールスターを参考にしていうこと。コンピュータグラフィクスとあるスーパー・オリビアに「AKIRA」のカラーイメージを出したために、大友が書いたマーク・ムービーの報告を数に上る。他にも、制作時に生じた英語と日本語のニュアンスの違いなどをクリアしつつ、国際版の制作は進められた。一冊として、発行本1巻10ページを定めてみた。国際版「AKIRA」の制作過程を追体験していただけたらう。

発行本1巻10ページの1コマ目。原稿の描き文字を直し、ふきだしの地をアルファベット対応にするためには、変更をすべて直す必要がある。

発行本1巻10ページの1コマ目。原稿の描き文字を直し、ふきだしの地をアルファベット対応にするためには、変更をすべて直す必要がある。

THE INTERNATIONAL AKIRA: 1988-1994

1988年 アメリカのMARVEL COMICS社、コミックブック版(85話)ソフトカバー、オールカラー(全15巻) 発行開始

1988年 フランスのEDITIONS SUD OUEST社、スペイン語版(85話)ソフトカバー、オールカラー(全15巻) 発行開始

1989年 ドイツのCARLISYON社、(85話)ハードカバー、オールカラー(12ページで全15巻) 発行開始

1989年 インドネシアのNEDA KOMPUNING社、(85話)ソフトカバー、モノクロ(12ページで全15巻) 発行開始

1989年 アメリカのMARVEL COMICS社、アルバム版(85話)ソフトカバー、オールカラー(12ページで全15巻) 発行開始

1989年 フランスのEDITIONS SUD OUEST社、フランス語版(85話)ハードカバー、オールカラー(12ページで全15巻) 発行開始

1989年 アメリカのMARVEL COMICS社、漫画家版(85話)ハードカバー、オールカラー(全15巻) 発行開始

1989年 フランスのEDITIONS SUD OUEST社、フランス語版(85話)ハードカバー、オールカラー(12ページで全15巻) 発行開始

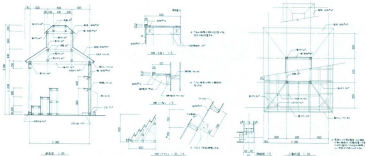
1989年 イタリアのEDITIONS SUD OUEST社、イタリア語版(85話)ハードカバー、オールカラー(12ページで全15巻) 発行開始

1989年 台湾 東立出版社、(85話)ソフトカバー、オールカラー(全15巻) 発行開始

1989年 イギリスのEDITIONS SUD OUEST社、(85話)ソフトカバー、オールカラー(全15巻) 発行開始

1989年 他、30以上の国で翻訳されている。総計、全世界の単行本総部数を合計すると約300万部に達する見込み。90年代後半には海外で、まだ出版していない、フィリピン、オランダ、ベルギー、アルゼンチン、タイなどの出版権と交渉中である。

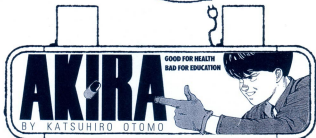
銀行を模したバーの裏に「AKIRA」
キオスクが建てられることになった。これはそ
の最初のイメージである。(参考文庫「世界のキ
オスク」TOTO出版)



上のイメージスケッチを設計士が正確な設計図におこしたが(上の設計図)、それでは予算オーバーする
ことが判明。次に、近所撮影所の大通路側に予算内で建てられるような設計図を依頼した。それを基に
スチーアート工務の協力により、設計図内のスケッチに「AKIRA」キオスクは建てられた。



キオスタに設置した観光看板2種類。上のは高さ18cm、下のは高さ148cm。実際に定まるように作られたが、トリミングの都合で、原寸本のカバー裏には写っていない。



設定・撮影には3日を要した。その際スタジオには見学者があいっす。大友氏は記念撮影に誘われた。当時はまだ学生時代であるが、関係者の健康と安全の確保、予定を上回る撮影量を確保した。ニューススタンドに入っている新聞は手製（「大友氏浮き上がり」に刺される」という見出しもある）。右にある新聞用紙の裏面にはすべて「AKIRA」ブランドのラベルがはってある。撮影終了後は関係社出の廃材置き場から調達された。



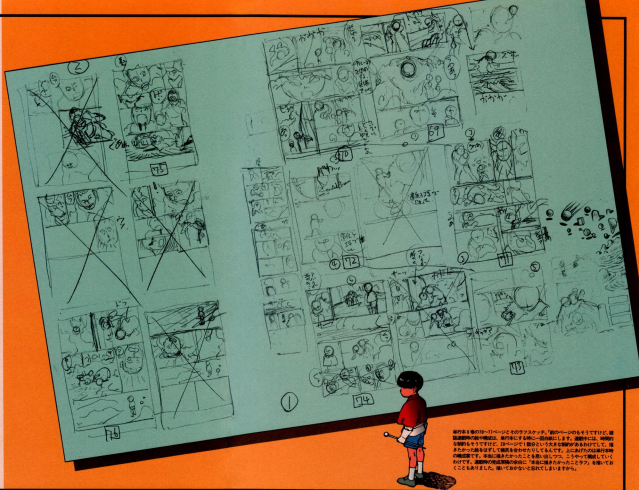




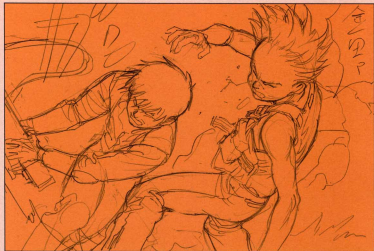
THE MEMORY OF AXIUDA LIVES ON IN OUR HEARTS!

UNPUBLISHED WORKS

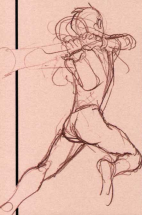
Why did they get killed?



原稿本と巻の19-21ページと本のラフスケッチ。「巻のページ」のもやうですけど、原稿本と巻の19-21ページは、原稿本にする時に一回の修正になります。巻の19には、当時の生活感もやうです。20ページは「巻」という大きな場面が描かれていて、描かれた場面はすべて修正を食わたりしてゐるんです。ふに描かれたのは原稿本の修正版です。巻に描かれたことと巻に描かれたこととを、こらやして修正していくわけです。巻の修正版の巻の19に「巻に描かれたこととラフ」を置いておくこともありました。描いておかないと描けませんから。



上は修行末期に描き直す時に使用した元の原稿。結局、修行中では下のような絵と構図になっている。後の巻の0127-0131ページにある。



0127の原稿



最多NG発生、殴るシーンが難しい。

金田が鉄雄を殴るシーンはそのすぐ後にもありました。主人公たちが道中で戦う場面が多かったので、作画的なシーンにしたかったんです。雑誌連載時にも1話のようにはずいぶん練習してアクションしてはいたけど、出来上がった雑誌を見ると気に入らない。で、また、修行中であって、それにしても、「殴る」シーンは難しいです。殴る前、殴る瞬間、殴った後、それぞれの入り方が違うし、またアングルも様々なものがあり、どれが一番マシになるかは、チェックしてみないとわからないんです。カッコよすぎても駄目だし、コマのサイズの最大化もつけない。なんて思いが交錯して、いや本当はこのシーンは苦労しました。

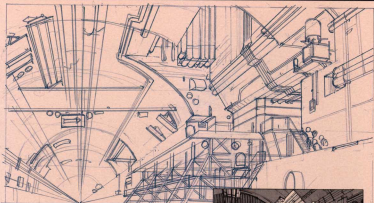
修行中の武に描き直す時、原稿は木下氏の作によって作り直される。この原稿も大抵に作り直される。大文庫の巻末に保管されているもの。連載第184回(18-19ページ)にある。



衝撃の事実! チヨコ
はオジサンだった。

[illegible]

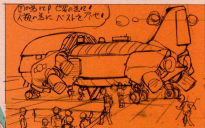
上は単行本2巻の140ページ、右は半の141下欄から。「ロングショット」というのは状況を説明するには最適なんですが、どうも緊張感に欠けてしまっています。状況がわからなくてもいいじゃない、緊張感がなくてはならない。ロングとアップのバランスにはいつも細心の注意を払っていました。また、構図に緊張を出すために、極端な文学で画面を構えることもしています。



右は単行本2巻の114ページ。上はその44ページ。『下駄まきしていたら、暴動が大きくなりすぎてしまいました。なんだや、大騒動騒動みたいになってしまっで……。もっと現実的な暴動にしたかったのて踏ま直しました』



上は原画より巻の144ページ、下はその
145下巻、コマの中に人物の顔の
四角を収めたかったんです。下巻をして
いたら、人物が大きくなりすぎてしま
いまして……。嬉しいかなNGです。



右は旅行本1巻の1ページ。上はその右下に読み、「上のやつもへりブコデーのつもりやんです。こゝにや強びやうにないあまやにもちりつにうったことを返さしながら、リアルなへりブコデーに強ききました。」



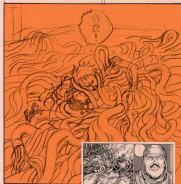


実は鉄雄と金田は「鉄人28号」にモデルがいます。

誤植について一言。実は、誤植という名前には横山光輝さんが描いた「鉄人28号」が元になっています。鉄人を作った数代博士の息子の名前が誤植というんです。金田の名前も鉄人を保護する金田博士とAからいびかれています。まめ、話自体も「戦争中の対戦国間兵器をよみがえらせる」という基本コンセプトをいじかいているくらいで「A.K.I.R.A.」のネタ本は「鉄人28号」と言っても過言じゃないくらいです。



方は雑誌連載の時期は12ページ、上は単行本単巻の16ページ、雑誌掲載のものを単行本に焼き直したものです。別に絵巻を焼き直したわけにはありません。右は物の怪談から正気の妖怪に変わってきたところです。横向きでシーンが読めるイメージがあります。読みをいったんおきめるには正面の欄間にした方がよいのではないかと。



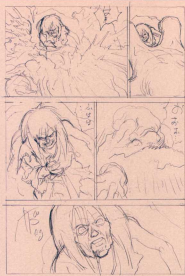
志保さん自ら巻の30ページに、上記のNGを添紙。「巻頭がコードの中
から選べるシーンです。でも、上の
NGは、読めるっていうより、コー
ドに読み込まれているというか、コー
ドの中でもらっているというか、巻
頭が選べるようにしなきゃダメさ
せん。で、読み直したわけです」

下は単行本と巻の000ページ。これはそのNG下書き。「NGはリーディングル、ローディングルだと両者の特長は軌道の壁に行きます。このシーンでは、集めた鋼に鉄骨の視線を集めたかったので横向きにしました。また、鉄骨の一部だけは見た方が緊張感が出る」と判断しました。

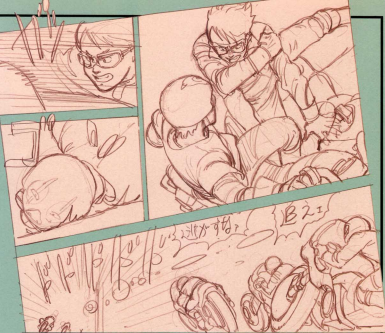


これは単行本本書の初ページ。上はその
右下下描き。「爆発の力というか、破壊
の持つ狂った力というか、そんなもの
を表現したくて、描き画したんだと思
います。でも実際に描きをおしたやつ
の方がカッコいいでしょ。こういうシ
ーンはカッコいい、描き画が描き画が描
き画が描き画です。」





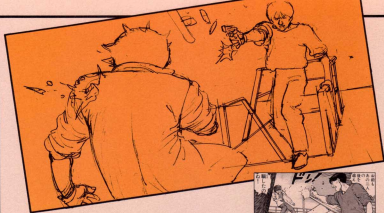
下は原付本巻の314〜316ページ、上は雑誌版撮影時のNG下描き。「ミヤコのラストシーン」ですね。3ページで下描きしてあったんですけど、どうもあっさりしすぎてしまってるページに思っています。おぼろちゃんがんばってんだよ、というメッセージを伝えたいからです。そのため、顔をぐちゃぐちゃに描きこんで、死ぬまで瞬間をのけてました。ミヤコがやがてに死するのを怖れも描いたかった。まあ、このラストシーンならミヤコを満足して後生してくれるのではないしょうか」



迫力のバイクシーン。スピードとテンポが構図と締め切りに優先した。

原付本1巻の319ページあたり、バイクシーンです。上の下描きは連載中のものです。これは雑誌版にも気に入って、しっかりと下描きしたにもかかわらず、NGになりました。しかも締め切りがギリギリだったというのに……。このままだと、いったんバイクから降りて眠っている顔に替えるでしよう。このシーンは、登場人物がちゃんとしてバイクに乗ったまま、バトルしているようにみせたいんです。そのために、ロングショットにして、一つのアクションをひとつの構図に入れて、できるだけ時間が必要ないよう意識して描き直しました。右にあげたのが直したものです。バイクにのったままバトルしているように見えますかね。スピードとテンポ、それとバイクシーンの命。カッコつけて、そう言っておきましょう。





右は原行本1巻の24ページ、上は雑誌掲載時の原稿。戦車が突進を繰り返すシーンです。原行本にすると、恐ろしいくらいメカが増えて、大勢の兵隊の7人という数に増えています。実際には、こうはならないと思うんですが、やっぱりいろいろいちゃいちゃしました。リアルなだけじゃつまらないでしょ。



原行本1巻の24ページとその下の下書き。「なんでアングラを受けたのか?」なんてでして。中々なっているんだけど、描き直さないと、セリフの流れを考えたのでもう、下書きでは「聞いたのね!」が忘れたまま予定ではがらう前まで重要なセリフを消すのはさすがに判断したんだと思います。



左は原行本1巻の24ページ、下は雑誌掲載時の原稿。「なんで」って書いてるシーンです。それから、スベタタタです。やっぱり細かいコマで見てたかという感じで、書き直しました。運動中はどうしてもコマを小さく描いてしまいます。

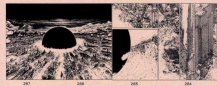
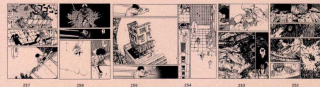


右上の原稿は雑誌掲載時（原14回13ページ）のもの。原行本巻の巻頭上の原稿に描き直された。原行本巻13ページにある「雑誌に載る時は大抵一つのことを考えて、雑誌に30年タストカットを置いていました。その時がこの雑誌で最後です。原行本にする時には、もっと大きな流れを考えて、静かな流れにしています。」



下は原行本1巻の24ページ、巻頭上は巻の巻頭下書き。「マサルが彼等に殺され、彼等が今日からに能力によって殺されるシーンです。下書きでは彼等が何かに重点を置いてたんですが、やっぱりちょっと違う。マサルが何と何かに力点を置かざるを得ないという感じでした。描き直しました。彼等のいの中を描かないと、今のメンバーが暴走状態に陥ってしまうんですが、これなら、彼らが人間で弱くしたいというところからいっていいのではないのでしょうか。」

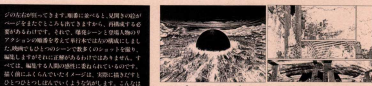
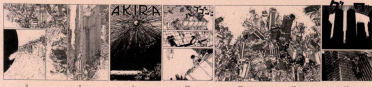




単行本時の構成。単行本1巻の218〜267ページ、
計49ページ。

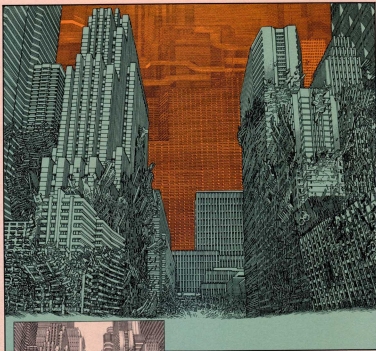
単行本用に再編集してみたが、どの 構成が正解か未だにわからない。

この冒頭シーンでは前の中に描きたい絵が満載でい
ました。『バイオレンスジャック』など前巻の絵巻を描いた
作品はありますが、大塚俊がストーリーの真ん中にある
のはなかったように思います。それを「AKIRA」で
実現したかったのです。しかも、新巻での構成をして
いる時間的余裕は連載中にはありません。しかも、単行
本にする際には、新巻発売時の掲載ははずすので、ペー



雑誌連載時の構成。第4巻の11〜24ページ、第41巻の
1〜18ページ、第48巻の1〜17ページ、計33ページ。

ジの左が割ってきます。順番に並べると、見開きの絵が
ページをまたぐとこも出てきますから、再構成する必
要があるわけです。それで、巻末シーンと登場人物のサ
イアンの順番を考えると単行本ではこの構成にしまし
た。地味でもひとつのシーンで数多くのショットを撮り、
編集しますがそれに正解があるわけではありません。す
べては、編集する人間の感性に委ねられているのです。
描く前にもうこんなイメージは、実際に描きだすと
ひとつひとつはほとんどいらない気がします。こんなは
ずしなかったのに……という軽い失望を感じながらも
読者は先に進むしかないのです。



これは単行本半巻の431ページ。上は単行本に描き下ろした原稿だがNGにしたもの。「いったんは描いたんですが、ネタがないというが、壁に向かって進んでいゆみたいで、描き進めて、空が見えるようになりました。互崎の側から新しい世界に近こう!っていうイメージが出たんじゃないでしょうか。また、このシーンではAの描き始めでしたから、一生懸命描いたことを覚えてます」



右に同じ。本来なら原稿を巻の118ページの壁に入った。「読者アンケートの人氣も気になってましたから、連載中はラストページの印象を大満にしていました」



今は旅行を楽しむの2倍ペース。主はその通いになった原因。「コピーずらしの特効効果です。意外と面白いんです。コピーの光に合わせて原稿をずらすんですけど何回やっても、うまくいかないことがあつました。今のデジタルコピーならもっと簡単にできるんですよ」うけだね。



原稿本にする際に開かれたページ、本来なら単行本も巻の2ページの端に入るもの、「
新聞にオチとして載ったものです。なくてもいいかな、と思ひまして。」

アキラのイメージモデルはアニメ映画「西遊記」に出ています。

アキカがアキヲ(西島)に会って一番喜んだという小島はイメージどおりに会ってはいませんでした。それと、会った長髪は短髪で、アキカをバカにしているかのような表情もあつた。どうも、アキカをバカにしているのではなく、アキヲという小島に会ったことがうれしかったのだと、アキカは話をしていて、集まりのなかから「アキヲ!アキヲ!」と、怒り声の叫ぶ声もあつた。聞くにたてくらゐです。どうも、そういふ小島の思ひがけがこもつてゐる。

映画館でアキヲと話とはばり別れた。そのギャップが面白くもみえて、いつか面白い作品にしたいとアキカを想像させる。と。こんな長髪のオタクにこんなとは思ひもしませんでした。



▲ 2008年 12月 第 1 期 第 1 版

1982	12/16	第1回 (26P / ヤングマガジン24号)
	12/20	第2回 (26P / ヤングマガジン1号)
1983	01/06	第3回 (26P / ヤングマガジン2号)
	01/17	第4回 (26P / ヤングマガジン3号)
	02/07	第5回 (26P / ヤングマガジン4号)
	02/21	第6回 (26P / ヤングマガジン5号)
	03/07	第7回 (26P / ヤングマガジン6号)
	03/18	第8回 (26P / ヤングマガジン7号)
	04/04	第9回 (26P / ヤングマガジン8号)
	04/18	第10回 (26P / ヤングマガジン9号)
	05/02	第11回 (26P / ヤングマガジン10号)
	05/16	第12回 (26P / ヤングマガジン11号)
	06/06	第13回 (26P / ヤングマガジン12号)
	06/20	第14回 (26P / ヤングマガジン13号)
	07/04	第15回 (26P / ヤングマガジン14号)
	07/18	第16回 (26P / ヤングマガジン15号)
	08/01	第17回 (26P / ヤングマガジン16号)
	08/12	第18回 (26P / ヤングマガジン17号)
	08/26	第19回 (26P / ヤングマガジン18号)
	09/19	第20回 (26P / ヤングマガジン19号)
	10/03	第21回 (26P / ヤングマガジン20号)
	10/17	第22回 (26P / ヤングマガジン21号)
	11/07	第23回 (26P / ヤングマガジン22号)
	11/21	第24回 (26P / ヤングマガジン23号)
	12/05	第25回 (26P / ヤングマガジン24号)
	12/19	第26回 (26P / ヤングマガジン1号)
1984	01/06	第27回 (26P / ヤングマガジン2号)
	02/06	第28回 (26P / ヤングマガジン3号)
	02/20	第29回 (26P / ヤングマガジン4号)
	03/05	第30回 (26P / ヤングマガジン5号)
	03/19	第31回 (26P / ヤングマガジン6号)
	04/02	第32回 (26P / ヤングマガジン7号)
	04/16	第33回 (26P / ヤングマガジン8号)
	05/04	第34回 (26P / ヤングマガジン9号)
	05/17	第35回 (26P / ヤングマガジン10号)
	05/31	第36回 (26P / ヤングマガジン11号)
	06/14	第37回 (26P / ヤングマガジン12号)
	06/28	第38回 (26P / ヤングマガジン13号)
	07/12	第39回 (26P / ヤングマガジン14号)
	07/26	第40回 (26P / ヤングマガジン15号)
	08/09	第41回 (26P / ヤングマガジン16号)
	08/23	第42回 (26P / ヤングマガジン17号)
	09/06	第43回 (26P / ヤングマガジン18号)
	09/20	第44回 (26P / ヤングマガジン19号)
	10/04	第45回 (26P / ヤングマガジン20号)
1985	02/18	第46回 (16P / ヤングマガジン5号)
	03/04	第47回 (16P / ヤングマガジン6号)
	03/18	第48回 (16P / ヤングマガジン7号)
	04/01	第49回 (16P / ヤングマガジン8号)
	04/15	第50回 (16P / ヤングマガジン9号)
	05/04	第51回 (16P / ヤングマガジン10号)
	05/20	第52回 (16P / ヤングマガジン11号)
	06/03	第53回 (16P / ヤングマガジン12号)
	07/15	第54回 (16P / ヤングマガジン13号)
	08/20	第55回 (16P / ヤングマガジン14号)
	09/03	第56回 (16P / ヤングマガジン15号)
	09/17	第57回 (16P / ヤングマガジン16号)
	10/01	第58回 (16P / ヤングマガジン17号)
	10/15	第59回 (16P / ヤングマガジン18号)
	11/01	第60回 (20P / ヤングマガジン19号)
	11/15	第61回 (20P / ヤングマガジン20号)
	11/29	第62回 (16P / ヤングマガジン21号)
	12/12	第63回 (16P / ヤングマガジン22号)
	12/26	第64回 (16P / ヤングマガジン23号)
1986	01/03	第65回 (16P / ヤングマガジン24号)
	01/17	第66回 (17P / ヤングマガジン1号)
	02/03	第67回 (20P / ヤングマガジン2号)
	02/17	第68回 (17P / ヤングマガジン3号)
	03/07	第69回 (15P / ヤングマガジン4号)
	03/21	第70回 (20P / ヤングマガジン5号)
	04/04	第71回 (18P / ヤングマガジン6号)
	04/18	第72回 (16P / ヤングマガジン7号)
	05/02	第73回 (16P / ヤングマガジン8号)
	05/16	第74回 (15P / ヤングマガジン9号)
	07/07	第75回 (17P / ヤングマガジン10号)
	07/21	第76回 (17P / ヤングマガジン11号)
	08/01	第77回 (20P / ヤングマガジン12号)
	第78回 2巻発売	
	09/20	第79回 (16P / ヤングマガジン13号)
	10/20	第80回 (20P / ヤングマガジン14号)
	11/01	第81回 (15P / ヤングマガジン15号)
	11/15	第82回 (15P / ヤングマガジン16号)
	11/29	第83回 (17P / ヤングマガジン17号)
	12/15	第84回 (15P / ヤングマガジン18号)

1987	01/06	第84回 (17P / ヤングマガジン1号)	1989	06/05	第100回 (16P / ヤングマガジン7号)
	02/02	第85回 (17P / ヤングマガジン4号)		06/18	第101回 (16P / ヤングマガジン9号)
	03/16	第86回 (17P / ヤングマガジン7号)		06/23	「国際版 AKIRA ③」発売
	04/05	第87回 (22P / ヤングマガジン1号)		07/03	第102回 (16P / ヤングマガジン21号)
	07/10	単行本4巻発売		07/07	第103回 (16P / ヤングマガジン23号)
				07/20	第104回 (17P / ヤングマガジン25号)
				08/20	第105回 (16P / ヤングマガジン28号)
				09/04	第106回 (16P / ヤングマガジン30号)
				10/06	第107回 (20P / ヤングマガジン36号)
				10/20	「国際版 AKIRA ④」発売
1988	05/28	「AKIRA ビデオブック」(ビデオ&映画鑑賞書)発売		01/30	第108回 (16P / ヤングマガジン38号)
	07/04	「AKIRA WORLD」発売		07/03	第109回 (17P / ヤングマガジン40号)
	07/08	「POSTER & GRAPHIC AKIRA」発売		07/27	第110回 (17P / ヤングマガジン42号)
	07/15	「AKIRA PRODUCTION REPORTー大友良英の世界とAKIRAアカラ」ビデオ発売		02/01	第111回 (17P / ヤングマガジン2号)
	07/16	映画「AKIRA」全国一斉公開 「AKIRA 劇場版パレフェット」発売 「AKIRAのテーマ・ミュージックCD」発売 「アカラ絵コンテ集①」発売	1990	01/05	第112回 (17P / ヤングマガジン5号)
	07/25	「AKIRA PRODUCTION REPORT」(レーザーディスク)発売		01/22	第113回 (12P / ヤングマガジン8号)
	07/27	「Synthetic Suite AKIRA」(LP & CD)発売		02/05	第114回 (17P / ヤングマガジン10号)
	08/01	「AKIRA mechanic 2019」発売		02/16	第115回 (18P / ヤングマガジン12号)
	08/10	「AKIRA オリジナルサウンドトラック」(LP & CD)発売		02/23	「国際版 AKIRA ⑤」発売
	08/12	「アカラ絵コンテ集②」発売		03/19	第116回 (21P / ヤングマガジン16号)
	08/29	「アニメXK アカラ①」発売		05/07	第117回 (13P / ヤングマガジン22号)
	09/17	「アニメXK アカラ②」発売		05/14	第118回 (19P / ヤングマガジン24号)
	10/01	「AKIRA グラフブック」発売		05/28	第119回 (15P / ヤングマガジン26号)
	10/07	「国際版 AKIRA ①」発売	1991	05/31	「国際版 AKIRA ⑥」発売
	10/13	「アニメXK アカラ③」発売		06/01	第120回 (16P / ヤングマガジン28号)
	11/05	「アニメXK アカラム」発売		06/21	「国際版 AKIRA ⑦」発売
	11/27	第88回 (15P / ヤングマガジン22号)		12/10	「国際版 AKIRA ⑧」発売
	11/29	第89回 (20P / ヤングマガジン23号)		12/11	単行本5巻発売
	12/01	映画「AKIRA」(ビデオ)発売	1992	04/29	「国際版 AKIRA ⑧」発売
	12/05	第90回 (20P / ヤングマガジン24号)		05/20	「国際版 AKIRA ⑨」発売
	12/06	「アニメXK アカラ④」発売		06/23	「国際版 AKIRA ①」発売
	12/10	映画「AKIRA」(レーザーディスク)発売	1993	03/23	単行本6巻発売
	12/15	映画「AKIRA」(ビデオ)発売		03/25	「スペシャルコレクション AKIRA」 (3枚組レーザーディスク)発売
	12/24	ファミコン「AKIRA」発売		06/21	「AKIRA」企画特ビデオ」発売
		ファミコン「AKIRA」安全版も発売	1995	06/09	「AKIRA CLUB」発売
1989	01/06	第91回 (15P / ヤングマガジン2号)			
	01/17	第92回 (15P / ヤングマガジン4号)			
	02/06	第93回 (20P / ヤングマガジン4号)			
	02/20	第94回 (15P / ヤングマガジン5号)			
	03/06	第95回 (20P / ヤングマガジン6号)			
	03/17	「国際版 AKIRA ②」発売			
	03/20	第96回 (17P / ヤングマガジン7号)			
	04/17	第97回 (13P / ヤングマガジン10号)			
	05/08	第98回 (19P / ヤングマガジン12号)			
	06/22	第99回 (17P / ヤングマガジン15号)			



© 2005 Blackwell Publishing Ltd, *Journal of Internal Medicine* 258: 103–111

[illegible]

AKIRA
ILLUSTRATIONS
1982—1993

created by

art director

designer

assistant staff

printing supervisor

typesetting

edited by

editorial support

special thanks to

アキラ クラブ AKIRA CLUB

KATSUHIRO OTOMO

AKIRA SAITO (Pencil Studio)

AKIRA YOSHIDA

YASUMITSU SUETAKE, SATOSHI TAKAHATAKE
MAMOTO SHOSAKI

HIROYUKI KOSHI (Toppan Printing Co., Ltd.)
SENKOSHA

KOICHI FURU, YASUMASA SHIMIZU, JUNJI SEKI
HISATAKA NISHITANI, HIROAKI MORITA
KEIICHI ONOCHI (KODANSHA)

OSAMU TOSHIBA, YUKA ANDO, YOSHIMASA MIZUO
KEN TSUNODA (KODANSHA)

AKIHIRO TAKADERI, AKIHIRO HAKAMADA, AKIRA SASO, AKIRA TAGATA, ARCHIE GOODWIN, FUKURO NAGAYASU,
TOMO IIDA, GO MINOHARA, HARUKI IZUMI, HAZUKI IWAMOTO, HOKEI ISHIKAWA, HIROSHI HIRATA,
HIROFUMI KITANO, HISASHI KUBOMA, KATSU YOSHIDA, KATSUZO IZAWA, MASAYUKI KUSUMI, MINETARU MOCHIZUKI,
MITSUTERU YUKIYAMA, NAOMI KIMURA, SATOSHI KON, SHINJI KUBOTA, SHINJI SUZUYAMA, SO MINAMIDA,
STEVE OLDF, TAKUMI NAGASAKI, TEISUBU HANABUSA, TOSHIHITO IZAWA, YUKO OTOMO, YUKARI AKAHOSHI,
AKAGUSA MATSUSHITA SHOUTEN, KATIER MORITA, BANDAI CO., LTD., GAFUSHA, GEINO YAMASHIRO-GUMI
IRA, NIKKO Inc., PIONEER LDC, SUDO ART KORO, TAITO CORPORATION, TOEI ANIMATION CO., Ltd.
and the many others who commissioned AKIRA



MASSIE
ROOM
COMPANY LTD.
BY
KATSUHIRO OTOMO

1995年6月9日 第1刷発行
(定価は表紙に表示してあります)

著者 大友克洋
発行者 山形雄
発行所 株式会社講談社
〒112-01 東京都文京区音羽2-12-21
電話 編集部 03(5)595-0441
販売部 03(5)595-0608
印刷所・製本所 凸版印刷株式会社



©1995 MASSIE ROOM

本書は複製権及びその他の権利を保護上の権利を有し、著作権に属します。

Printed in Japan N.D.C.TW 250 p. 28mm

■ 著者本、社下本は株式会社講談社東京本社にお送りください。送付先は発行所にてお取り扱います。
なお、この本の内容についてのお問い合わせはヤングマガジン編集部にお送りいたします。

ISBN4-06-330003-X (ヤマ)

O T O M O K A T S U H I R O



この本でやっと「アキラ」にピリオドを打つ事が出来ました。
終わって見れば長いような短いような……
良く描いたなァと云う気もすれば描き足らなかったような気がします。
まァこんなところでしょうか……
何年前か、どう云った心境で書いたのか忘れてしまいましたが
画板の隅に書いた句をひとつ。
「メシ喰えば、泣けど笑えど糞の出る」
食事中の人は御免なさい。
では、又、次の作品で——。

1995. 大友克洋

THE MEMORY OF AKIRA LIVES ON IN OUR HEARTS!



9784063300031



1910979035004

ISBN4-06-330003-X

C0979 P3500E (0)

講談社 定価3500円(本体3388円)

